

令和2年度

事業報告(案)

社会福祉法人 えがりて

# 目 次

経営方針・中期ビジョン	
取り組むべき重点課題・重点目標の評価	・・・・・・・・ 1
< 1 > 法人全体	
1. 職員動向	・・・・・・・・ 3
2. 職員配置	・・・・・・・・ 5
3. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会	・・・・・・・・ 6
4. 監査	
5. 避難訓練	・・・・・・・・ 7
6. 寄附	
7. 全体行事	・・・・・・・・ 8
8. 研修	・・・・・・・・ 9
9. 会議	・・・・・・・・ 12
10. 委員会	・・・・・・・・ 17
11. ダイバーショナルセラピー (DT)	・・・・・・・・ 20
12. 家族会	・・・・・・・・ 23
13. 見学、実習	・・・・・・・・ 24
14. ボランティア活動状況	
< 2 > 特別養護老人ホーム吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・・・・・・・・ 25
2. 行事实施状況	・・・・・・・・ 26
< 3 > ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・・・・・・・・ 27
2. 行事实施状況	・・・・・・・・ 29
統計資料 (特別養護老人ホーム吹上苑 )	・・・・・・・・ 30
(ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 )	
< 4 > 短期入所生活介護事業所吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・・・・・・・・ 33
2. 活動実施状況	・・・・・・・・ 34
3. 統計資料	・・・・・・・・ 36
< 5 > 栄養課	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・・・・・・・・ 37
2. 行事食・選択食	・・・・・・・・ 38
3. 栄養実績	・・・・・・・・ 39
< 6 > デイサービスセンター吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・・・・・・・・ 40
2. 活動実施状況	・・・・・・・・ 41
3. 統計資料	・・・・・・・・ 42

< 7 >あかね雲吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 4 3
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 4 4
3. 統計資料（地域密着型通所介護介護） （基準該当生活介護事業）	・ ・ ・ ・ 4 6
< 8 >介護予防教室吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 4 8
2. 活動実施状況	・ ・ ・ ・ 4 9
3. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 0
< 9 >居宅介護支援事業所吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 5 1
2. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 2
< 1 0 >鴻巣地域包括支援センター吹上苑	
1. 目標・具体的活動計画の評価	・ ・ ・ ・ 5 4
2. 統計資料	・ ・ ・ ・ 5 6

## 経営方針

### 1. <利用者に対して:心に寄り添って>

社会福祉法人えがりて職員は、ひとり一人の利用者のクオリティ・オブ・ライフ(人生の質)の向上を目指し、支援する

### 2. <職員として:チームワーク>

社会福祉法人えがりて職員は、ひとり一人の利用者の多様なニーズに応えるため、多職種が連携・協働し、支援する

### 3. <地域に対して:支え合い>

社会福祉法人えがりて職員は、福祉・介護・医療の専門職として、吹上地域の地域包括ケアシステムの推進に貢献する

## 中期ビジョン

1. わが国の 2040 年の人口構造の変化を見据え、当法人内でも働き手不足が顕在化する可能性を認識し、法人全体で支援体制を構築するとともに、事業所単位で業務の改善や効率化に取り組む

2. 台風や地震などの不測の事態に備え、棟単位でチームを編成し、災害に対応できる組織を作る。また地域の福祉避難所としての機能も考えた取り組みを進める

3. 令和 3 年度の介護報酬改定を見据え、事業所単位でその基本的な考え方を理解するとともに、加算取得に向けた準備を開始する

4.平成 30 年度介護報酬改定の重要な取り組みを継続する

#### 1)医療・介護の連携

- ・特養入居者の医療ニーズ(配置医との連携を強化した施設内看取り介護など)の対応
- ・短期入所生活介護利用者の医療ニーズ(中重度高齢者の受入れなど)の対応
- ・居宅介護支援事業所の介護支援専門員による医療・介護の連携(入退院時・ターミナル期等)

#### 2)自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

- ・通所介護における心身機能の維持に係るアウトカム評価(ADL(日常生活動作)の維持・改善)
- ・特養入居者の褥瘡の発生を予防するための管理
- ・栄養改善(低栄養状態・栄養スクリーニング)
- ・口腔衛生管理(口腔ケア)

## 取り組むべき重点課題

1. 社会福祉法人えがりては、最近頻発している自然災害に備え、迅速に対応できる職員体制を整備するとともに、近隣の要援護高齢者のために、仮の福祉避難所としての役割を担う必要がある

2. 社会福祉法人えがりては、利用者の楽しみが継続できるように、職員のマンパワーに合わせ、ダイバーショナルセラピーを再編成する必要がある
3. 社会福祉法人えがりては、忙しいエリアをサポートするために、支援体制を整備する必要がある
4. 社会福祉法人えがりては、介護現場の業務改善を進めるために、通所介護事業所の記録方法や、ユニット型特養の食事提供方法を見直す必要がある
5. 社会福祉法人えがりては、老朽化した機器類の入替工事を計画的に進める必要がある

## 重点目標の評価

1. 社会福祉法人えがりては、施設が災害に遭遇しても、最低限の被災で済むように、職員は積極的に災害想定訓練に取り組むとともに、包括支援センターと仮の福祉避難所の準備を開始する  
【評価】令和元年度の大型台風による洪水体験を活かすため、今年度は感染対策を徹底し、洪水時避難訓練を 3 回実施した。浸水想定訓練では、建屋の 2 階に移す書類や備品などを改めて明確にすることができた。また、地域の民生委員の依頼で高齢の避難者を受け入れた体験から、今後も地域との連携を強化したい。
2. 社会福祉法人えがりては、法人全体で取り組むプログラムと、ダイバーショナルセラピーワーカーによるフロア単位のプログラムに分けて再編成し、ダイバーショナルセラピーの継続と充実を目指す  
【評価】今年度はコロナ禍で外部講師によるセラピー（茶道・書道など）は開催できなかったが、感染対策を徹底するため、他部署との交流を取り止め、吹上苑ダイバーショナルセラピーとして小規模に再編成した。各々のユニットセラピーワーカーを中心に、定期的に楽しいひと時を過ごすことができた。
3. 社会福祉法人えがりては、人手不足を補うために、エリア間職員移動体制や、様々な状況で介護補助員を活用した支援体制を構築する  
【評価】今年度は 6 名の常勤介護職員、4 名の非常勤介護補助員、3 名の非常勤調理員を採用。また、育児休業から 4 名の常勤職員が復帰し、余裕を持たせた職員配置が実現した。
4. 社会福祉法人えがりては、令和 2 年度に、併設デイサービスセンターやあかね雲の ICT 化に取り組む。また令和 3 年度までに、ユニット型特養のユニット配膳を、中央配膳に切替える  
【評価】今年度は併設デイサービスセンターとあかね雲の ICT 化に取り組み、煩雑な介護記録業務の改善が図れた。
5. 社会福祉法人えがりては、令和 2 年度に、厚生労働省の助成金を活用し、特養の仰臥位入浴装置の入替工事に取り組む  
【評価】今年度は厚生労働省の助成金を活用し、入居者・職員双方が安全で、重度の入居者でも仰臥位のまま安楽に入浴できる装置の入替工事を完了することができた。

## < 1 > 法人全体

### 1. 職員動向

#### 1) 採用

##### ①常勤職員

No.	所属	職種	採用年月日	理由
1	包括	社会福祉士	令和2年4月1日	増員
2	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年4月13日	増員
3	特養(従来型)	ケアワーカー	令和2年6月1日	増員
4	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年9月10日	退職者補充
5	看護課	看護師	令和2年11月16日	退職者補充
6	栄養課	調理師	令和2年12月1日	退職者補充
7	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年12月1日	退職者補充
8	特養(従来型)	ケアワーカー	令和3年2月1日	増員
9	特養(従来型)	ケアワーカー	令和3年2月16日	増員

##### ②非常勤職員

No.	所属	職種	採用年月日	理由
1	特養(従来型)	ケアワーカー助手	令和2年5月16日	増員
2	栄養課	調理員	令和2年7月1日	増員
3	栄養課	調理員	令和2年7月11日	増員
4	デイサービス	運転手	令和2年8月1日	退職者補充
5	栄養課	調理員	令和2年8月1日	退職者補充
6	ショートステイ	送迎助手	令和2年9月1日	増員
7	栄養課	調理員	令和2年11月1日	増員
8	デイサービス	ケアワーカー助手	令和2年12月16日	増員
9	デイサービス	ケアワーカー助手	令和2年12月16日	増員
10	特養(ユニット型)	ケアワーカー助手	令和3年1月1日	退職者補充
11	あかね雲	運転手	令和3年3月16日	退職者補充

#### 2) 休職

No.	所属	職種	休職期間	理由
1	特養(従来型)	ケアワーカー	平成30年12月26日～令和2年8月31日	産休・育休(延長)
2	栄養課	栄養士	平成31年1月6日～令和2年7月30日	産休・育休(延長)
3	特養(従来型)	ケアワーカー	平成31年3月28日～令和2年7月30日	産休・育休(延長)
4	デイサービス	ケアワーカー	令和元年11月26日～令和2年12月14日	産休・育休
5	包括	社会福祉士	令和元年11月28日～令和3年6月29日(予定)	産休・育休(延長)
6	-	ケアワーカー	令和2年5月16日～令和2年5月31日	私傷病
7	-	社会福祉士	令和2年5月16日～令和2年7月12日	私傷病
8	包括	社会福祉士	令和2年7月13日～令和3年3月31日	産休・育休
9	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年9月13日～令和3年10月14日(予定)	産休・育休
10	-	ケアワーカー	令和2年10月16日～令和2年12月11日	私傷病
11	栄養課	栄養士	令和2年12月20日～令和4年1月30日(予定)	産休・育休

### 3)退職

#### ①常勤職員

No.	所属	職種	退職日	理由
1	看護課	看護師	令和2年4月15日	自己都合
2	栄養課	栄養士	令和2年7月31日	自己都合
3	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年9月30日	自己都合
4	栄養課	調理師	令和3年3月31日	自己都合
5	包括	社会福祉士	令和3年3月31日	自己都合

#### ②非常勤職員

No.	所属	職種	退職日	理由
1	デイサービス	ケアワーカー	令和2年4月15日	自己都合
2	ショートステイ	レクリエーション担当	令和2年5月15日	自己都合
3	特養(従来型)	ケアワーカー助手	令和2年6月30日	自己都合
4	栄養課	調理員	令和2年7月22日	自己都合
5	デイサービス	運転手	令和2年8月15日	自己都合
6	栄養課	調理員	令和2年9月15日	自己都合
7	デイサービス	運転手	令和2年10月20日	自己都合
8	デイサービス	生活相談員	令和2年10月31日	自己都合
9	特養(ユニット型)	ケアワーカー	令和2年11月15日	自己都合
10	デイサービス	ケアワーカー助手	令和2年12月31日	自己都合
11	ショートステイ	レクリエーション担当	令和2年12月31日	自己都合
12	あかね雲	ケアワーカー	令和3年2月28日	自己都合
13	ショートステイ	運転手	令和3年3月7日	死去
14	あかね雲	運転手	令和3年3月31日	定年

2. 職員配置

令和3年 3月31日現在

【全職員数:195名(内、非常勤:91名)】

職 種	職員数内訳			資 格 (延べ人数)		
	常勤	非常勤				
		常勤換算				
施設長	1			保健師、介護支援専門員 看護師、社会福祉士		
総務課	事務員	6	2	0.5		
看護課	事務員		1	0.1		
特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	生活相談員	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名	
	介護支援専門員	2			介護支援専門員2名 社会福祉士1名、介護福祉士2名	
	看護師	3	5	3.7	看護師6名、准看護師2名 介護支援専門員1名	
	機能訓練指導員	1	1	0.4	看護師2名 介護支援専門員1名	
	ユニット型特養	ケアワーカー	31(育短1)	16	6.6	介護支援専門員2名 社会福祉士3名、介護福祉士32名
		ユニット型特養	24(育休1育短1)	16	6.4	介護支援専門員3名 社会福祉士2名、介護福祉士26名
	運転手			1	0.3	
送迎助手			1	0.07		
栄 養 課	管理栄養士	1			特別養護老人ホーム (併設短期入所生活介護)	
	栄養士	1			ユニット型特養	
	調理師	4(育休1)	1	0.5		
	調理員	4				
	調理員		8	3.7		
デイサービスセンター (通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス)	生活相談員	1			介護福祉士	
	生活相談員兼ケアワーカー	2			介護支援専門員1名 介護福祉士2名	
	看護師		2	1.6	看護師2名	
	ケアワーカー	4(育短1)	14	5.9	介護福祉士9名	
	運転手		4	1.5		
	調理員		1	0.5		
地域包括支援センター	管理者兼主任介護支援専門員	1			主任介護支援専門員3名 看護師4名	
	主任介護支援専門員	1			介護支援専門員8名 社会福祉士5名	
	看護師	3				
	社会福祉士	4(育休2)				
居宅介護支援事業所	介護支援専門員	4			主任介護支援専門員1名 介護支援専門員4名 介護福祉士4名	
介護予防教室 〔鴻巣市はつらっデイサービス〕	ケアワーカー	1	5	1.6	主任介護支援専門員1名 介護支援専門員2名 介護福祉士2名 管理栄養士1名	
宿 直			3	1.5		
用務員			1	0.4		
あかね雲吹上苑 (地域密着介護通所介護 鴻巣市介護予防 通所介護相当サービス 基準該当障害福祉 サービス)	管理者兼生活相談員	1			社会福祉士、介護福祉士	
	生活相談員	1			介護福祉士	
	看護師		1	0.7	看護師	
	ケアワーカー	1	5	3.4	介護支援専門員1名 介護福祉士6名	
	運転手		3	0.9		
計		104	91	40.27	(実人数)	

### 3. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会

第1回理事会	開催日:令和2年5月26日 14:00～
議案	1. 令和元年度事業報告(案)及び令和元年度計算書類等(案)の承認について 2. 役員(理事)選任候補者の選定と選任候補者の評議員会への提案について 3. 評議員会の招集について
第1回評議員会	開催日:令和2年6月24日 14:00～
議案	1. 令和元年度計算書類等(案)の承認について 2. 役員(理事)の選任について
第2回理事会	開催日:令和2年12月11日 14:00～
議案	1. 令和2年度 第1次補正予算(案)について 2. 育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)について(R3.1.1法改正による)
第3回理事会	開催日:令和3年3月24日 14:00～
議案	1. 令和3年度 事業計画(案)について 2. 令和3年度 収支予算(案)について 3. 就業規則の一部改正(案)について 4. 準職員就業規則の一部改正(案)について
評議員選任・解任委員会	開催なし

### 4. 監査

#### 1) 内部監査

実施日	令和2年5月20日(処遇・財務)
実施者	(処遇) 手島初江監事 (財務) 蛭川俊也監事
指導等	口頭指導のみ

#### 2) 外部監査

監査名	鴻巣市地域包括支援センター運営事業委託契約に基づく運営状況確認及び介護保険法第23条に基づく実地指導
実施日	令和2年12月17日
実施機関	鴻巣市健康福祉部介護保険課 地域包括ケア担当・事業者担当
監査項目	事業委託契約の規定に基づく運営状況確認及び介護保険法第23条に基づく実地指導
指導等	口頭指導のみ

監査名	社会福祉施設指導監査(書面監査)
実施日	令和3年2月9日
実施機関	埼玉県福祉部福祉監査課 高齢施設担当
監査項目	(1)社会福祉施設の運営管理及び財務管理の状況(2)老人福祉施設としての基準遵守
指導等	指摘事項なし

## 5. 避難訓練

### 1) 洪水時避難訓練

※平成 29 年 6 月水防法等の改正により、鴻巣市が浸水想定区域に該当するため義務付けられた。

実施日	訓練想定	対象
7月4日	日中	法人全体
7月21日	夜間	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
8月5日	日中・浸水	法人全体

### 2) 火災時避難訓練

実施日	訓練想定	対象
9月22日	日中	あかね雲
9月30日	日中	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ、デイサービス 介護予防教室、居宅、包括
2月8日	夜間	従来型特養、ユニット型特養、ショートステイ
2月15日	日中	あかね雲

## 6. 寄附

寄附申込者	寄附日	寄附内容
ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑入居者家族	5月24日	現金 100,000円
	合計	100,000円

## 7. 全体行事

行事名	令和2年度 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑家族会総会
開催日	令和2年6月21日（日）書面にて
内 容	議題 1. 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画について 2. 吹上苑家族会 令和元年度決算報告、令和2年度予算案について 3. 令和2年度 家族会役員の改選について
評 価	新型コロナウイルス感染症拡大により、急遽、書面開催に変更。全議題について家族の承認を得た。

行事名	令和2年度 特別養護老人ホーム吹上苑・ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑敬老会
開催日	特別養護老人ホーム吹上苑：令和2年9月13日（日）12：00～15：00 ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑：令和2年9月21日（月）祝12：00～15：00
内 容	コロナ禍での開催となり、例年行っている来賓・家族を招いてのセレモニーは中止し、ユニットごとに職員だけで規模を縮小して開催。 特 養：最長寿者3名（100歳以上）、長寿者21名（90歳以上）、米寿3名、喜寿1名 ユニット特養：最長寿者5名（100歳以上）、長寿者20名（90歳以上）、米寿3名、喜寿1名 最長寿者、長寿者、米寿、喜寿の入居者は和服に着替え、その他の入居者もおしゃれをして記念撮影。 栄養課から、13日の昼食に豪華な松花堂弁当、おやつに抹茶とホワイトチョコのムース、21日のおやつに紅白まんじゅうを提供。
評 価	入居者全員が美しい生花の前で記念写真を撮ることができ、おいしい食事とともに充実した敬老会となった。90歳以上の長寿者の割合は50%に達した。

行事名	第8回 夢のふっきい祭
開催日	令和2年10月20日（日）13：00～16：30
内 容	コロナ禍での開催となり、来賓・家族・ボランティアの参加は見送った。催し物は従来通りとし、飲食の模擬店を1か所のみにした。3密を回避するため小規模開催に変更し、同じ内容のお祭りを4回（①さくら橋町、②せせらぎ町、③コスモス町・本丸町、④人形町・しらさぎ町）に分けて実施した。 <b>【催し物】</b> *全て景品付き ふっきいすくい※磁石のついた竿を使って、ビニールプールに入れられた「ふっきいマグネット」を釣り上げる遊び。 ボーリング、スマートボール、着ぐるみじゃんけん、ふっきいと記念写真 <b>【屋台】</b> たい焼き、みそポテト、ジュース・ビール等
評 価	感染対策を徹底し、入居者中心のふっきい祭を開催した。景品を用意したところ、例年より多くの入居者に参加してもらうことができた。ビニール袋一杯の景品を嬉しそうに持ち帰る姿が印象的で、企画した実行委員も満足のいく内容となった。

## 8. 研修

### 1) 内部研修

#### (1) 福祉機器を活用した介護技術研修

新型コロナウイルス感染症拡大により中止
---------------------

#### (2) 学習会

研修日	テーマ	方法	参加者数
4月16日	食中毒、緊急・急変時の対応、事故防止、DTワーカーの活動	講義・演習	23名
5月14日			26名
6月18日	認知症ケア(パーソン・センタード・ケア)		18名
7月16日			8名
9月10日	コンチネンスケア		16名
9月17日	感染症、看取り介護、身体拘束		16名
10月15日			8名
11月6日	虐待について(同日に同じ内容で2回実施)		(1回目)38名 (2回目)24名
12月10日	アンガーマネジメント(同日に同じ内容で2回実施)		(1回目)28名 (2回目)13名
1月21日	腰痛予防・口腔ケア・認知症ケア		20名
2月5日	新型コロナウイルス感染症の対応(施設見学・座学)		23名
2月18日	腰痛予防・口腔ケア・認知症ケア		16名
3月18日	委員会活動報告、ダイバーショナルセラピー活動報告、事故報告		講義
要約	職場内講師からは、「看取り介護」「緊急時の対応」「食中毒」「感染症」「腰痛予防」「事故防止」「身体拘束」について学び、知識・技術の再確認ができた。外部講師には、同日に同じ内容で「虐待」「アンガーマネジメント」について2回実施してもらい、勤務を調整して、職員がなるべく参加できるようにした。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、感染管理専門の講師に施設内を見てもらい、感染対策をしっかりと行う場所と、そうでない場所を確認できた。無駄を省き、きちんと対策を行い、職員が施設に持ち込まないように気をつけたい。		

#### (3) 1年目教育研修(介護技術研修Ⅰ)

研修日	テーマ	方法	参加者数
4月23日	ユニットケア、非常災害時の対応(マニュアル)、身体拘束ゼロ・リスクマネジメント、パーソン・センタード・ケア、高齢者食	講義・演習	4名
4月24日	介護記録、「仕事の流れとマニュアルの説明」、3大介護、ダイバーショナルセラピー、マイパーソナルキャリアプラン、職場の連携、福祉用具の活用、医療機器の説明		4名
要約	1年目職員としての基礎的な知識、介護技術、多職種連携について学ぶことができた。2年目、3年目と介護を続ける上で、それぞれが目標を持って、スキルアップし、知識を身につけて入居者と向き合えることを学んだ。		

#### (4) 2年目教育研修(介護技術研修Ⅱ)

研修日	テーマ	方法	参加者数
6月23日	高齢者の栄養、高齢者の尊厳、看護技術、看取り介護	講義・演習	6名
要約	職場内講師から、2年目としての知識・介護技術、高齢者との接し方、施設での看取りの方法などを学んだ。看取りを行っている施設として、入居者の死を受け入れる心の準備も学んだ。		

#### (5) 中堅職員教育研修

研修日	テーマ	方法	参加者数
8月20日	中堅職員として必要な考え方、スキルを身につける	講義・演習	8名
要約	外部講師を招き、リーダーシップやフォロワーシップについて、グループワークを交えながら講義をしていただいた。中堅職員として、自分自身と向き合い、必要な考え方や役割を学んだ。		

#### (6) ケアプラン学習会

研修日	テーマ	方法	参加者数
7月17日	施設サービス計画書作成手順について モニタリング、ケアプランの発表、意見交換	講義・演習	1名
7月31日			1名
3月28日			2名
要約	入職から3~4か月経過後、担当入居者のケアプランを特養介護支援専門員から学び、作成。吹上苑のケアマネジメントに沿って、アセスメント、モニタリング、ケアプラン立案までを行った。アセスメントの重要性を学び、日頃のケアにその視点を活用できるようになった。		

## 2)外部研修

特別養護老人ホーム・ユニット型特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所			
研修日	テーマ	主催者	参加者
8月4日	令和2年度彩の国あんしんセーフティネット事業第1回ブロック会議・研修	埼玉県福祉部福祉協議会 社会貢献活動推進協議会	介護支援専門員
10月7日	オンライン研修「養介護施設従事者等による高齢者虐待防止について」	埼玉県福祉部地域包括ケア課	ケアワーカー
11月15日	パーソン・センタード・ケアを考えるオンライン研修会「認知症の治療とケア」	NPO法人パーソン・センタード・ケアを考える会	施設長・看護師 介護支援専門員 生活相談員
11月28日	オンラインミニ勉強会「withコロナ・高齢者福祉の倫理」	NPO法人シルバー総合研究所	施設長・看護師 ケアワーカー 介護支援専門員 生活相談員
12月12日	オンライン研修「令和2年度埼玉県看取り体制強化事業介護施設における看取り研修」	埼玉県福祉部地域包括ケア課	ケアワーカー
1月26日 2月2日	オンライン研修「社会福祉援助技術ステップアップ研修」	埼玉県社会福祉協議会研究開発部 福祉研修課	生活相談員
2月26日	オンライン研修「令和2年度彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員専門研修」	埼玉県福祉部福祉協議会 社会貢献活動推進協議会	介護支援専門員
3月24日	オンライン北欧視察研修「スウェーデンが貧しい農業国から高齢者福祉大国になった理由」	ユニ・チャームメンリック株式会社 スウェーデン・クオリティケア	ケアワーカー
栄養課			
新型コロナウイルス感染症拡大により中止			
デイサービス			
新型コロナウイルス感染症拡大により中止			
あかね雲			
研修日	テーマ	主催者	参加者
2月5日	新型コロナウイルス感染症対策	埼玉県看護協会	看護師
2月13日	事例で学ぶコロナ対策(オンライン)	埼玉県	管理者
2月25日	新型コロナウイルス感染症領域別感染予防策(オンライン)	埼玉県老人福祉施設協議会	管理者 看護師
3月6日	事業所向け自立支援研修(オンライン)	埼玉県福祉部地域包括ケア課	管理者
介護予防教室			
研修日	テーマ	主催者	参加者
10月24日	レクリエーション介護士2級講座 介護レクの基本	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
10月27日	認知症サポーター養成講座	鴻巣市地域包括センター吹上苑	ケアワーカー助手
10月31日	レクリエーション介護士2級講座 レクの企画と計画方法	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
11月7日	レクリエーション介護士2級講座 介護レクの実技	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
11月14日	レクリエーション介護士2級講座 介護予防体操	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
11月21日	レクリエーション介護士2級講座 音楽レクリエーション	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
11月28日	レクリエーション介護士2級講座 ゲームレクリエーション	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
12月5日	レクリエーション介護士2級講座 クラフトレクリエーション	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
12月12日	レクリエーション介護士2級講座 実践計画を練る	公益財団法人 いきいき埼玉	ケアワーカー助手2名
居宅介護支援			
研修日	テーマ	主催者	参加者
6月17日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
7月13日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
7月21日	鴻巣市自立支援型地域ケア会議	鴻巣市介護保険課	介護支援専門員
7月27日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
8月24日	吹上圏域自立支援型地域ケア会議(事例発表)	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
9月14日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
9月29日	令和2年度鴻巣市ゲートキーパー研修会	鴻巣市健康づくり課	介護支援専門員
10月12日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
11月9日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
11月11日	介護支援専門員レベルアップ研修 若年性認知症支援	埼玉県介護支援専門員協会	介護支援専門員

居宅介護支援			
研修日	テーマ	主催者	参加者
12月12日	実施指導者研修	埼玉県福祉部高齢者福祉課	主任介護支援専門員
12月14日	吹上圏域地域ケア会議 評価	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	介護支援専門員
12月16日	鴻巣市ケアマネ連絡会	鴻巣市ケアマネ部会	介護支援専門員
1月18日	吹上圏域地域ケア会議	鴻巣地域包括支援センター吹上苑	主任介護支援専門員
1月19日	鴻巣市自立支援型地域ケア会議（事例発表）	鴻巣市介護保険課	介護支援専門員
2月10日	鴻巣市ケアマネ連絡会（事例発表）	鴻巣市ケアマネ部会	主任介護支援専門員

地域包括支援センター			
研修日	テーマ	主催者	参加者
9月9日	いのちのサポーター ゲートキーパー入門講座	鴻巣市	看護師
10月7日	養護施設・事業所従事者等向け高齢者虐待防止研修	埼玉県	社会福祉士
11月21日	在宅医療・介護連携推進事業 市民講座	鴻巣市	看護師
12月1日	精神障害者の地域包括ケア研修会	鴻巣保健所	社会福祉士
12月26日	在宅医療・介護連携推進事業研修	鴻巣市	主任介護支援専門員 社会福祉士
1月16日	高齢者虐待研修	鴻巣市	看護師 社会福祉士
1月26日	地域包括支援センター職員基礎研修	長寿社会開発センター	社会福祉士
3月17日	地域包括ケア担当職員セミナー	長寿社会開発センター	社会福祉士
3月18日	自立支援型地域ケア会議 コーディネーター研修	長寿社会開発センター	看護師 社会福祉士
3月30日	認知症疾患医療センターの現状と相談のポイント	鴻巣市	看護師 社会福祉士

### 3) 研修講師

研修日	テーマ	主催者	講師
令和2年11月 ～令和3年2月	【動画講義】 埼玉県看取り体制強化事業(介護施設における看取り介護)	埼玉県	施設長

## 9. 会議

### 1) 運営会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月15日	1.部署ごとの洪水避難時行動計画(案) 2.新型コロナウイルス感染症者(疑)の隔離方法 3.施設内での感染予防対策 4.内部監査	11月11日	1.県内特養での新型コロナウイルス感染症発生 2.埼玉県指定 診療・検査医療機関 3.ガラス越し面会アンケート結果報告 4.新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 5.人材不足を補うための対策 6.コロナ禍におけるDTの見直し
5月13日	1.家族会総会は書面にて実施 2.新型コロナウイルス感染症(欧州での集団感染) 3.新型コロナウイルスを施設内に持ち込まない対策 4.育児休暇からの復帰の遅れ	12月9日	1.新型コロナウイルス感染症研修報告 2.埼玉県一斉巡回指導 3.新型コロナウイルス感染対策会議報告 4.コロナ禍での事業計画の作成
6月9日	1.対面での面会方法 2.DT・レクの再開時期 3.ユニット型特養洪水避難時行動計画 4.令和元年度事業報告・決算報告	1月13日	1.令和3年度介護報酬改定に関する審議報告 2.コロナ禍の令和3年度事業計画(案) 3.令和4年度埼玉県・鴻巣市指導監査について 4.業務効率化(案)
7月15日	1.対面での面会を再開して 2.コロナ禍での事業継続 3.新型コロナウイルス感染症のチェックリスト作成 4.敬老会・ふつきい祭の開催方法	1月20日	1.コロナ禍の令和3年度事業計画(案)
8月12日	1.洪水時非難訓練を終了して 2.新型コロナウイルス感染症の流行状況 3.事業所携帯電話 4.8月から各大学・専門学校の実習再開 5.ボランティア活動の現状	2月10日	1.オンライン研修「事例から学ぶコロナ対策」 2.最近の特養の家族の状況と次年度の行事 3.令和3年度パート職員の雇用契約の見直し 4.苦情解決委員会の議題
9月9日	1.新型コロナウイルス感染症の最新知識 2.台風シーズン到来、その対策 3.交通事故時の対応 4.新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金	3月11日	1.令和3年度事業計画(案) 2.令和3年度介護報酬改定(加算について) 3.コロナ禍の福利厚生
10月14日	1.新型コロナウイルス感染対策会議報告 2.職員の休憩場所 3.第8回ふつきい祭を終了して 4.埼玉県新型コロナウイルス互助ネットワーク情報	要約	今年度は、法人運営の全てが新型コロナウイルス感染症(第1波から第3波)に振り回された1年間だった。毎回議題として取り上げ、職員間で情報を共有し、感染対策に一丸となって取り組むことで、感染者を出さずに運営できた。

### 2) 感染予防・感染症対策会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月3日	1.衛生材料の現状について 2.最近の各部署の状況について 3.感染リスクが更に高まっている状況下での事業継続について 4.特養の面会制限について 5.その他	7月7日	1.最近の新型コロナウイルス感染者の状況について 2.衛生材料の備蓄状況について 3.各部署の状況について 4.発熱者の対応について 5.特養とショートステイの面会方法 6.DTやレクについて 7.感染症シーズンに備えた準備について 8.その他
4月7日	1.各部署の対策について 2.吹上苑における新型コロナウイルス感染対策について 3.その他	7月17日	1.感染管理について 2.環境整備(三密を避ける)について 3.その他
4月15日	1.発熱症状発生時の対応について 2.その他	10月8日	1.最近の新型コロナウイルス感染症の状況について 2.衛生材料の確保状況について 3.各部署からの報告について 4.発熱者の対応について 5.在宅サービス利用者のマスク着用状況とアクリル板の活用状況について 6.DTやレク、面会方法について 7.感染症シーズン(冬)に備えた準備について 8.その他
4月16日	1.新型コロナウイルス感染症罹患利用者の部屋について 2.新型コロナウイルス感染症居室担当者について 3.新型コロナウイルス感染症対応職員の補償について 4.その他		
4月22日	1.衛生材料の現状について 2.各部署の状況について 3.ウイルスを施設に持ち込まない対策について		

4月22日	4.感染リスクが高まっている状況下での事業継続について 5.発熱フロアの概要について 6.その他	11月18日	1.最近のコロナウイルス感染症の状況について 2.衛生材料の確保状況について 3.新型コロナウイルスを施設内に入れない対策について 4.発熱者の対応について 5.感染症シーズン(冬)に備えた準備について 6.その他
4月27日	1.最近の状況について 2.衛生材料について 3.発熱者への対応について 4.その他		11月23日
5月17日	1.最近の新型コロナウイルス感染者の状況について 2.発熱者の対応について 3.その他	12月28日	1.発熱者の隔離部屋について 2.その他
5月28日	1.最近の新型コロナウイルス感染者の状況について 2.衛生材料の状況について 3.各部署の近況について 4.発熱者の対応について 5.新規の受入れについて 6.感染症シーズンに備えた準備について 7.特養とショートステイの面会方法、DTやレクについて 8.その他	1月27日	1.病床ひっ迫時における高齢者施設での施設内感染発生時の留意点等について 2.ゾーニングについて 3.その他
		要約	新型コロナウイルス感染症の急な感染拡大により、初めてパンデミックを経験した。当初は、新型コロナウイルスについて解明されていないことが多く、法人全体で会議を重ね、手探りで感染対策を考えた。

### 3) 栄養会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月15日	1.とろみについて 2.非常時(コロナウイルス)の献立について	11月11日	1.やわらか素材の試食
5月13日	1.令和元年度栄養素充足率と確認事項 2.令和2年度食事摂取基準について	12月9日	1.おせち料理について 2.やわらか素材の試食
		1月13日	1.ビタミンB1について 2.コロナ対応について
6月9日	1.嗜好調査について 2.食物繊維について	2月10日	1.コロナ対応について
7月15日	1.排水桝の工事について	3月11日	1.食事箋、食事形態について
8月12日	1.食事嗜好調査結果報告(特養)	共通議題	・給与栄養量について ・食事についての意見交換(検査簿・ユニットから) ・翌月の予定献立について
9月9日	1.食事嗜好調査結果報告(通所)		
10月14日	1.たんぱく質について		
要約	・各部署の感想から課題を見つけ、「食材」「仕込み」「保温方法」等について改善することができた。 ・体重測定、嗜好調査、食事データ等で利用者の現状を多職種で共有することができた。		

### 4) 特養リーダー会議

開催日	報告・検討事項
4月8日,5月6日,6月3日,7月1日,8月5日 9月2日,10月7日,11月7日,12月2日,2月3日,3月3日	1.ユニットからの報告 2.検討議題 3.各部署からの連絡 4.その他
要約	新型コロナウイルス感染対策のため、入居者が発熱した場合に、隔離するための居室やゾーニングの詳細について多職種で検討した。また、業務内容の見直しや、勤務体制について意見交換を行い、改善に向けて取り組むことができた。

### 5) ユニット型特養リーダー会議

開催日	報告・検討事項
4月8日,5月20日,6月17日,7月8日,8月19日,9月16日 10月21日,11月18日,12月16日,1月20日,2月17日,3月17日	1.ユニットからの報告 2.検討議題 3.各部署からの連絡 4.その他
要約	新型コロナウイルス感染対策として、他ユニットの職員でも業務支援ができるように、業務内容を検討した。ユニットの課題解決に向けて多職種で課題を共有し、意見を交換を行った。夜間業務を見直し、改善に向けて多職種で協力することができた。

### 6) 特養・ショートステイ短時間勤務職員業務改善会議

開催日	報告・検討事項	要約
9月2日	1.コロナ対策について 2.入居者の脱水・熱中症対策について 3.食中毒について 4.業務についての意見交換 5.その他	今年度は新型コロナウイルス感染対策についての研修会を開催した。特養看護師の指導を受けながら、手洗いや防護服の着脱方法などについて実技を学んだ。また、脱水、熱中症、看取り介護、食中毒について情報を共有し、知識を深めることができた。

7)看護課業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月28日	1.報告、検討、行事 2.その他	10月30日	1.報告、検討、行事 2.その他
5月21日	1.連絡、報告 2.その他	11月19日	1.報告、検討、行事 2.その他
6月29日	1.報告、検討、行事 2.その他	12月21日	1.介護施設における看護師の役割 講師 施設長 2.その他
7月28日	1.報告、検討、行事 2.その他	1月21日	1.報告、検討、行事 2.その他
8月31日	1.報告、検討、行事 2.その他	2月24日	1.報告、検討、行事 2.その他
9月28日	1.報告、検討、行事 2.その他	3月30日	1.報告、検討、行事 2.その他
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、施設長による吹上苑の看取りや看護師の役割などの講演があり、看護課一同で再確認し、看取りの方針が定まった。</li> <li>・感染症認定看護師 朝倉 智美先生による新型コロナウイルス感染症の学習会を開催。感染対策として、やるべきこと、やらなくてもいいことなどを細かく指導してもらい、理解を深めることができた。</li> </ul>		

8)栄養課業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月12日	1.とろみについて 2.非常時の献立について	10月28日	1.11/8断水停電の業務の流れ 2.中央配膳について
5月20日	1.令和元年度栄養素充足率とまとめ 2.令和2年度食事摂取基準について	11月20日	1.施設内にコロナウイルスを入れない対策について 2.食材の取り扱いについて
6月19日	1.嗜好調査について 2.食物繊維について	12月15日	1.おせち料理について 2.令和3年度事業計画について
7月17日	1.ふっくい祭、敬老会について 2.排水桝の修理について	1月20日	1.非常時の献立について 2.コロナ対策対象者への配膳方法の確認
8月20日	1.食事嗜好調査結果(特養) 2.シフト、仕事内容について	2月18日	1.調理室内レイアウトについて 2.消毒の方法再確認
9月24日	1.食事嗜好調査結果(通所) 2.10月から変わることについて	3月19日	1.食事箋、食事形態について 2.令和3年度事業計画(案)について
共通議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量調理衛生管理マニュアルの読み合わせ ・ATP・AMPふき取り検査の実施と衛生状況の報告</li> <li>・報告:毎月の食材費の状況、栄養会議、運営会議、各種委員会の状況報告</li> <li>・業務内容の確認 ・検討:ヒヤリハットの報告と検討、日頃の業務の見直し検討、献立に関する意見交換</li> </ul>		
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況別に非常時の献立を作成し、それぞれの業務の流れを確認した。</li> <li>・運営会議、栄養会議、各種委員会の報告をすることができた。</li> <li>・「食物繊維の付加」「副食形態の簡素化」「無駄のない食材利用」ができた。</li> </ul>		

9)デイサービス業務会議・ケアカンファレンス

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月16日	1.業務について (新型コロナウイルス感染症対応について等) 2.連絡事項(新型コロナウイルス感染症について等)	11月19日	1.業務について(歯磨き・排泄チェック表について等) 2.連絡事項(感染症について等)
		12月17日	1.連絡事項(水質検査について等) 2.連絡事項(新型コロナウイルス感染症について等)
5月4日	1.業務について(休憩中のメモについて等) 2.連絡事項(新型コロナウイルス感染対策について等)	1月21日	1.業務について(排泄チェック表・水質検査について等) 2.連絡事項(次年度クラブ活動について等)
		2月18日	1.業務について(送迎時の対応) 2.連絡事項(新型コロナワクチン接種について等)
6月18日	1.業務について(卓上テーブル布巾について等) 2.連絡事項(送迎時の注意点等)	3月18日	1.業務について (脱衣所でのマスクの保管場所について等) 2.連絡事項(利用者の対応について等)
9月17日	1.業務について (夕食利用者する方が増えたことについて等) 2.看護師よりカウンテクニク講習	要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症の対応、対策、業務の見直しをし、職員間で情報共有のため話し合うことができた。</li> <li>・業務効率化のための気づきや、提案があり、活発に意見交換が行えた。</li> </ul>
10月15日	1.業務について(上着について等) 2.連絡事項 (新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応について等)		

### 10) デイサービス介護助手業務会議

開催日	報告・検討事項		
12月29日	1.連絡事項 (マニュアル見直し・新型コロナウイルス感染症について) 2.意見交換	要約	入職した職員がスムーズに業務に入れるように業務を見直した。また、新型コロナウイルス感染症についての情報共有ができた。

### 11) あかね雲業務会議・ケアカンファレンス

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月29日	1.新型コロナウイルス感染拡大防止について 2.業務について(タブレット入力、入浴時の見守り)	2月26日	1.ケアカンファレンス 2.業務について(入浴中の換気他) 3.研修報告
6月30日	1.事業計画・事業報告 2.業務について(洪水時避難訓練他)	3月31日	1.ケアカンファレンス 2.業務について 3.個人防護服の着脱について
7月31日	1.ケアカンファレンス 2.業務について(個人情報の取り扱い他)	要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応について、話し合うことが多かった。</li> <li>・利用者の個別の対応については、ケアカンファレンスで話し合い、情報共有を行った。</li> <li>・発生した「苦情・事故ヒヤリハット」の検討を行い、情報の共有と対応について意見交換を行った。</li> </ul>
9月25日	1.ケアカンファレンス 2.業務について(発熱時の対応他) 3.学習会「認知症ケア」		
10月30日	1.業務について(朝の準備) 2.学習会「感染症・身体拘束・虐待」		
12月25日	1.ケアカンファレンス 2.業務について(口腔ケア他)		

### 12) あかね雲運営推進会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
7月22日	1.令和2年度事業計画について	2月24日	1.新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み
共通議題 ・活動状況報告、苦情・事故報告・委員との意見交換			
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による情報提供・報告を行い、意見等の集約を行った。</li> <li>・各委員から、多くの意見が寄せられた。</li> </ul>		

### 13) 介護予防教室業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月22日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.コロナ禍の業務内容の確認 4.新メニューの内容の検討 5.業務のシフトについて	10月21日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容(役割分担)の確認と見直し 4.帰宅時の利用者対応の方法見直し 5.体力測定の結果報告
5月20日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.メニューの確認 5.体力測定結果報告	11月19日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.部屋の換気方法の確認 5.備品の購入検討
6月17日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.メニュー(体操)方法の確認 5.その他	12月16日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.担当業務の見直しと確認 5.太鼓メニューの確認
7月22日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.コロナ対策 5.体力測定の結果報告	1月21日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.来年度の予算要望について 4.勉強会の実施について 5.体力測定の結果報告
8月19日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.コロナ対策 5.その他	2月17日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.体幹トレーニングの内容確認 5.コロナ対策のための3Aファイル作成 6.体力測定結果報告

9月26日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.音楽レクリエーションについて 5.その他	3月18日	1.運営・栄養会議の報告 2.利用者の情報共有 3.業務内容の確認 4.3Aファイルの見直しと再確認 5.新業務担当表の作成
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における利用者への対応、メニューの展開方法などを検討して、状況に合わせ変更を重ねて、安全できめ細やかな支援につなげることができた。</li> <li>・研修の内容等を勉強会で伝達し、新しいメニューを取り込むことができた。</li> </ul>		

#### 14) 居宅ケアマネ業務会議

開催日	報告・検討事項
4月1日,6日,15日,24日,29日,5月4日,11日,20日,25日 6月1日,8日,16日,22日,7月4日,9日,17日,25日,31日 8月7日,11日,20日,28日,9月4日,10日,16日,25日 10月2日,6日,16日,23日,30日,11月4日,12日,20日,28日 12月1日,10日,17日,24日,30日,1月8日,16日,21日,30日 2月5日,12日,20日,26日,3月6日,13日,18日,27日	①現に抱える処遇困難ケースについての具体的な処遇方針 ②過去に取り扱ったケースについての問題点及びその改善方策 ③地域における事業者や活用できる社会資源の状況 ④保健医療及び福祉に関する諸制度 ⑤ケアマネジメントに関する技術 ⑥利用者から苦情があった場合は、その内容及び改善方針
要約	コロナ禍で担当者会議や面談が厳しい中、電話等積極的な情報交換で医療、多職種との連携を深め、利用者の生活を支えることができた。

#### 15) 地域包括支援センター業務会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
4月14日	1.包括業務について (新型コロナウイルス関連の対策)	11月9日	1.包括業務について (ご近所見守り隊フォローアップ研修、支所の対応)
5月9日 14日	1.包括業務について (新型コロナウイルス関連の対策)	14日	2.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有
6月12日	1.包括業務について (新型コロナウイルス関連の対策、会議の変更調整) 2.地域の課題	12月11日	1.包括業務について (今年度の事業評価、来年度の目標)
7月10日 14日	1.包括業務について (ネットワーク会議、福祉課との連携) 2.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有	14日	1.包括業務について (来年度の予定、業務分担)
8月12日 29日	1.包括業務について (福祉課との連携、圏域型地域ケア会議、実習生) 2.地区割りの見直し	1月8日 13日	1.包括業務について (ネットワーク会議、来年度の人事)
9月24日	1.包括業務について (介護者教室、交流会、認知症サポーター養成講座) 2.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有	2月9日 12日	1.包括業務について (ネットワーク会議、来年度の人事) 2.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有
10月12日	1.包括業務について (社会調査、ご近所見守り隊フォローアップ研修) 2.研修報告 3.地域のサービス	3月8日	1.包括業務について (ネットワーク会議、研修、居宅への委託) 2.地域の課題、インフォーマルサービスの情報共有
		共通議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例の経過報告と共通理解</li> <li>・新規の相談者</li> </ul>
		要約	常に新型コロナウイルス関連の対策を検討しながら、困難ケース等の対応のため、情報を共有し、積極的に議論を交わした。

#### 16) 吹上地域ネットワーク会議

開催日	報告・検討事項	開催日	報告・検討事項
8月3日	鴻巣地域包括支援センター吹上苑実績報告 参加団体からの実績報告 吹上圏域のネットワーク構築についての意見交換	書面開催	配布資料について 感染症対策についての意見交換 吹上圏域のネットワーク構築についての意見交換
要約	新型コロナウイルス感染対策のため、時期や座席を工夫した。3月は緊急事態宣言下のため書面開催とした。		

## 10. 委員会

### 1) 苦情解決委員会

開催日	議題	開催日	議題
苦情受付件数0のため、開催なし			

### 2) 身体的拘束適正化委員会

開催日	共通議題
4月15日,5月13日,6月9日,7月15日,8月12日,9月9日 10月14日,11月11日,12月9日,1月13日,2月10日,3月11日	1.身体拘束の現状について 2.その他
要約	施設長、看護課主任リーダー、特養主任リーダー、特養ケアワーカーのリーダー・サブリーダー、特養生活相談員、特養介護支援専門員で開催。情報共有・意見交換を行った。内部研修を2回実施し、身体的拘束適正化の周知徹底に努めた。

### 3) 特養優先入所検討委員会

開催日	参加者	第三者委員、施設長、特養主任リーダー、看護課主任リーダー、特養介護支援専門員、特養生活相談員、デイサービス生活相談員、栄養課主任リーダー、居宅介護支援専門員、包括主任介護支援専門員
4月9日,5月14日,6月11日,7月9日,8月12日,9月10日 10月8日,11月12日,12月10日,1月14日,2月10日,3月11日		
共通議題		
1.入退居者の近況報告 2.入居希望者の現状について 3.次期入居予定者について		

### 4) ユニット型特養優先入所検討委員会

開催日	参加者	第三者委員、施設長、特養主任リーダー、看護課主任リーダー、特養介護支援専門員、特養生活相談員、デイサービス生活相談員、栄養課主任リーダー、居宅介護支援専門員、包括主任介護支援専門員
4月9日,5月14日,6月11日,7月9日,8月12日,9月10日 10月8日,11月12日,12月10日,1月14日,2月10日,3月11日		
共通議題		
1.入退居者の近況報告 2.入居希望者の現状について 3.次期入居予定者について		

### 5) 衛生委員会

開催日	議題	開催日	議題
4月14日 産業医参加	1.職員の心身の状況について 2.新型コロナウイルス感染対策について 3.新型コロナウイルス感染症流行状況	10月15日	1.職員の健康状態について 2.ストレスチェックの結果について 3.その他
4月15日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症で休む時について 3.その他	11月11日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他
5月13日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症3密対策について 3.その他	12月9日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他
6月9日	1.職員の健康状態について 2.令和2年度ストレスチェックについて 3.その他	1月13日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他
7月15日	1.職員の健康状態について 2.令和2年度職員健診について 3.その他	1月21日 産業医参加	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.新型コロナウイルス感染症の流行状況
8月12日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他	2月10日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他
9月9日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関係について 3.その他	3月11日	1.職員の健康状態について 2.新型コロナウイルス感染症関連について 3.その他
要約	今年度の議題は、新型コロナウイルス感染症関連の内容が中心だった。職員発熱時や、同居家族発熱時の連絡・対応方法などについて、具体的に決めることができた。		

## 6)医療安全委員会

開催日	議題	開催日	議題
10月13日	1.今後の特定行為実施対象者について 2. 特定行為の研修について 3. その他	10月27日	1.今後の特定行為実施対象者について 2.特定行為の研修について 3.その他
要約	新型コロナウイルス感染対策のため、実技研修は中止し、吸引機の準備、マニュアルの確認を行った。		

## 7)マニュアル見直し委員会

開催日	議題	開催日	議題
9月9日	1.マニュアル見直しについて 2.その他	3月11日	1.マニュアル見直しについて 2.その他
要約	感染症マニュアルに、「新型コロナウイルス感染症マニュアル」を追加した。洪水時対策マニュアルに、「各部署の避難行動計画」を追加した。機械浴を新しくしたので、マニュアルを変更した。吹上苑のマニュアルファイルを更新し、これらを周知することができた。		

## 8)リハビリ・事故防止委員会

開催日	議題	開催日	議題
5月28日	1.連絡事項 2.ユニット型特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告、ヒヤリハット等)	11月26日	1.ユニット型特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告) 2.その他
6月25日	1.特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告) 2.その他	12月17日	1.連絡事項 2.特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告、ヒヤリハット等)
8月27日	1.ユニット型特養・ショートステイ・デイサービス リハビリ・リスクマネジメント(現状報告) 2.その他	2月25日	1.ユニット型特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告) 2.その他
9月24日	1.連絡事項 2.特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告、ヒヤリハット等)	3月26日	1.連絡事項 2.特養・ショートステイ・デイサービス リスクマネジメント(現状報告、ヒヤリハット等)
要約	福祉機器のメンテナンスを行い、不具合があるものについては迅速に対応した。ヒヤリハットや事故報告について、情報共有・意見交換を行った。今後もユニットと協力し、入居者の自立性や安全性に配慮した対応を継続したい。		

## 9)認知症ケア委員会

開催日	議題	開催日	議題
4月10日	1.今年度の活動・目標について 2.認知症ケアマッピング(DCM)の実施について 3.1年目研修について	12月10日	1.1月の学習会の事例について 2.withコロナ時代の高齢者福祉の倫理研修について 3.ユニット会議で伝えること 4.委員会活動報告
6月12日	1.6月18日の学習会について 2.学習会のグループワークをより活かすための今後の活動について 3.その他	2月12日	1.令和2年度の振り返り 2.令和3年度の活動について 3.委員の増員について 4.1月の学習会の改善点について
8月7日	1.学習会で出してもらった悪性の社会心理について 2.学習会で出してもらった意見をどう活かしていくか 3.9月、10月の外部研修について	要約	6月と7月は「悪性の社会心理について」、1月と2月は「入居者へのより良い関わりについて」学習会を開催した。悪性の社会心理への気づきは、自分自身のケアを振り返る機会になった。来年度も学習会を開催し、パーソン・センタード・ケアについて学ぶ機会としたい。
10月9日	1.学習会について 2.11月28日の研修について 3.その他		

### 10) 排泄プロジェクト委員会

開催日	議題	開催日	議題
4月6日	1.本年度の委員目標 2.検討議題 3.その他	要約	コロナ禍であったが、オムツマイスターの認定取得を進めることができた。来年度は各ユニット1名ずつ委員を選出し、チームケアの質を高めていきたい。利用者の快適さを目指しつつ、排泄の面から入居者の生活にアプローチできるように活動していきたい。
9月7日	1.上半期の振り返り(中間評価) 2.その他		
2月1日	1.目標評価 2.来年度の活動内容検討 3.その他		

### 11) ダイバーショナルセラピー委員会

開催日	議題	要約	議題
1月21日	1.コロナ禍における今後の活動について 2.活動報告、来年度の活動 3.その他	新型コロナウイルス感染症の拡大により、外部の先生にお願いしていた茶道は活動中止となった。また、引き続き実施した活動についても、密を避けるため、対象者を制限することとした。	

### 12) パドル体操委員会

開催日	共通議題
7月2日,3日,10日,16日,8月6日,7日,14日 9月3日,4日,11日,17日,10月1日,2日,9日,15日 11月5日,6日,13日,19日,12月3日,4日	1.当月の振り返り 2.翌月のプログラム(テーマや準備の確認等)
要約	今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、休止と再開を繰り返した。高齢者施設のインストラクターとして、講師自身も外出自粛に協力してくださった。

### 13) 苑内喫茶 花\*花委員会

開催日	共通議題
7月5日,8月2日,9月6日,10月4日	1.運営方法 2.感染症対策の徹底
要約	新型コロナウイルス感染対策として、特養利用者へのみの参加とし、席の間隔を空け、アルコール消毒を徹底した。夏季のみの実施となったが、思い思いにくつろいでいただくことができた。

### 14) 書道教室委員会

開催日	共通議題
7月12日,8月9日,9月20日,10月18日 12月13日,1月17日,2月14日,3月14日	1.当月の振り返り 2.道具の管理について
要約	・新型コロナウイルス感染症拡大中のため、講師、ボランティア不在で実施した。 ・毎回、心のこもった作品を正面玄関に展示した。 ・1月には書初めを行い、楽しんでもらうことができた。

### 15) 栄養課出張寿司委員会

開催日	議題	開催日	議題
9月26日	ショートステイ 日程、食数、食種、座席の確認	1月29日	さくら橋 日程、食数、食種、座席の確認
11月19日	あかね雲 日程、食数、食種、座席の確認	2月26日	せせらぎ町 日程、食数、食種、座席の確認
12月21日	人形町・しらさぎ町 日程、食数、食種、座席の確認	3月6日	コスモス町・本丸町 日程、食数、食種、座席の確認
要約	食事形態や座席、当日の流れについて事前に話し合い、円滑に実施することができた。		

## 11. ダイバーショナルセラピー (DT)

音楽クラブ	
テーマ (目的)	懐かしい旋律に触れ、心が和む。 大きな声を出して歌い、心身のリフレッシュを図る。
開催日等	毎月2回 14:00～15:00
概要	ハーモニカの演奏に合わせ、童謡や演歌、民謡を歌う。 また、歌や演奏を聴き、音楽クラブの雰囲気を楽しむ。 その他、手足の運動や口の運動を取り入れながら活動する。 季節に合った曲を、その月ごとに選曲。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者
成果	今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度当初は開催を見合わせていたが、やや収束した時期を見計らい7月より開始した。ボランティアのハーモニカ演奏に合わせ、季節を感じ、若い頃を思い出してもらえそうな曲を歌ってもらった。その後、新型コロナウイルスの主な感染経路が飛沫であることが分かり、マスク着用での歌唱が難しいため、やむを得ず11月中止した。

パドル体操	
テーマ (目的)	笑いのある人生を！ 笑いながら(笑顔)行うことでストレスを解消する。 パドルをあらゆる方法で使い、体に無理なく楽しく体操をする。 曲に合わせて身体を動かすことで免疫力を高める。 笑いながら(笑顔)行うことでストレスを解消する。
開催日等	ショートステイ:毎月第1木曜日・第2金曜日、デイサービス:毎月第1金曜日・第3木曜日 あかね雲:毎月第2木曜日 14:00～15:00
概要	パドルを使い、童謡や季節に合わせた曲で、講師の指導のもと、楽しく笑顔で体操を行う。
講師 ボランティア	外部講師1名
対象者	ショートステイ利用者、デイサービス利用者、あかね雲利用者
成果	今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、年度当初は開催を見合わせていたが、講師の田島先生と連絡を取り、感染対策を徹底し、7月より開始した。「身体を動かせるので嬉しい」「待っていた」などの声があった。田島先生は体操だけでなく、会話上手で、体操しながら笑いが絶えない。

苑内喫茶 花*花	
テーマ (目的)	ゆっくりとお菓子と飲み物をいただきながら、普段会わない人と交流し、楽しい時間が過ごせる。
開催日等	7～10月の第1日曜日 13:30～15:00
概要	・会議室を喫茶店風に模様替えして実施。テーブルには季節の花や装飾品を飾り、童謡やジャズなどのBGMとコーヒーの香りで喫茶店の雰囲気を出す。職員はウェイトレス・ウェイター風の服装でサービスする。 ・メニューは数種類の飲み物と栄養課手作りのお菓子を用意する。 ・ひとりでゆったりとした時間を過ごされる方、仲の良い人と連れ立って来店し、お話を楽しまれる方など、自由に過ごしてもらえる場所を提供する。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者
成果	新型コロナウイルス感染対策として、開催や対象者を制限し、席の間隔を空け、アルコール消毒を徹底して行った。毎回50名程が来店され、思い思いに寛いでいる様子が見られた。楽しみにされている方が多いようで、来店されると笑顔が見られた。来店できない方には、お菓子と飲み物をユニットまで届け、楽しんでいただいた。

書道教室	
テーマ (目的)	笑いのある環境で、文字を書くことを楽しむ。 ・筆の感触、墨の香りに懐かしさを感じる。 ・作品の出来栄に一喜一憂する。 ・文字を通して笑顔になる。
開催日等	毎月第2日曜日 14:00～15:00
概要	・お手本を参考に作品を完成させる。 ・1枚書き上げる度に、赤筆で丸をいただく。 ・正面玄関に作品を展示する。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者
成果	新型コロナウイルス感染症の拡大により、講師、ボランティア不在で、テーブルの間隔を空けて行った。毎回約15～20名が参加され、季節や行事に因んだお手本の中から、書きたいものを選んで書いていただいた。毎月楽しみにしている方や、初めて参加する方など様々だったが、参加者からは笑顔が見られた。活動後には、作品を正面玄関に展示した。1月の書初めでは、書初め用紙に書かれる方もいた。

ルームビジット	
テーマ (目的)	身体機能の低下により、居室で過ごす時間が長くなりがちな入居者を対象に、職員が居室を訪室し、楽しかったあの頃を振り返る。
開催日等	年5回
概要	・活動日の1か月前までに、対象者のアセスメントシート(ルームビジット専用)とSONASセッション計画書を記入し、担当職員に配付。 ・当日までに準備、活動の流れの確認を行う。 ・当日は挨拶→談笑→本題へと移る。 後半にルームビジットテーマ曲である「上を向いて歩こう」「故郷」を演奏し、歌う。最後に感想を聞き、挨拶をして終了。
対象者	臥床時間の長い方(看取りの方を含む)
成果	対象者の趣味や生活歴、昔やっていたことを参考にし、活動を行うようにしている。ハンドマッサージ中は、ブレンドしたアロマオイルや入浴剤の香りが居室からユニット内まで広がり、他の利用者や職員にも良い影響を与えられている。

栄養課出張寿司	
テーマ (目的)	普段、外出の少ない利用者に寿司屋に行った気分、寿司を楽しんでもらう。
開催日等	9月、11月、12月、1月、2月、3月 ユニットごとに実施
概要	調理台の前に集まり、解体前のブリを見てもらい、手に持って記念に写真を撮影する。 その後は目の前で解体し、三枚に下ろして中骨、皮を取り、寿司用に切る。 ブリ以外の寿司ネタ(鮪、サーモン、帆立)を並べ、寿司を握っていく。 握り寿司が食べられない方には、刻み又は粉碎した寿司ネタをのせた海鮮丼を提供した。
対象者	特養入居者、ユニット型特養入居者、ショートステイ利用者、あかね雲利用者
成果	ブリの解体ショーは毎年好評で、大きなブリを目の前にして「おいしそうだね」と、笑顔になる方が多い。握り寿司では食べられない方が増えたので、海鮮丼の具を2種類(刻み・ペースト)用意し、できるだけその方の食事形態に合わせて提供した。海鮮丼の方にも、握り寿司を刻んで食べていただいた。希望者には、ネタを選んでもらって、お代わりを提供した。

オクタバンド体操	
テーマ (目的)	慣れ親しんだユニットで、職員と一緒にオクタバンドを使って身体を動かし、心身のストレスを解消する。
開催日等	随時
概要	<p>【オクタバンド】</p> <p>タコのようなデザインで、円を中心にレッグ部(足:8本または16本)が放射状につながっている。レッグ(足)の持ち手部分が輪になっているので、手の力が弱い人でも参加でき、また、柔らかい伸縮性のある素材でできているため、皮膚を傷つける心配もない。座ったままでも立ったままでも使え、それぞれを手で引っ張り合ったり、中心の円形部分にボールを乗せて全員で弾ませたりと、身体を使ったコミュニケーションができる。</p> <p>つながっているので、誰かが手を動かすとその振動が伝わり、思うように身体が動かせない人でも一体感を味わえる。個別の動きを促進したり、参加者同士の連帯意識を高めたりと、ひとり一人の目的に合った体操が行える。</p>
対象者	どなたでも
成果	今年度から新たに導入。一人につき1本または2本の足を持ってもらい、風船バレーを行った。風船を中に投げ入れる職員、風船を叩くご利用者、一汗かくまで激しく動き、良い体操となった。

お茶会(茶道)	
新型コロナウイルス感染症拡大により中止	

## 12. 家族会

### 1) 家族会総会（書面）

開催日	内容
6月21日	1. 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画(法人) 2. 令和元年度家族会決算報告、令和2年度家族会予算案について 3. その他

### 2) 家族会役員会

開催日	議題
7月11日	1. 近況報告 2. 面会について 3. 敬老会・ふっさい祭について 4. 今後の役員会の日程について 5. その他
9月27日	1. 近況報告 2. 敬老会・ふっさい祭を終えて 3. 入居者の処遇について 4. その他
3月28日	1. 近況報告 2. 令和3年度 特養年間行事 3. 吹上苑家族会 令和2年度決算(案)について、令和3年度予算(案)について 4. コロナ関連(面会・ワクチン接種等)について 5. 役員の1年を振り返って 6. その他
要約	家族会役員3名、施設長、看護課主任リーダー、特養主任リーダー、特養介護支援専門員、栄養課主任リーダー、特養生活相談員の計9名で開催。吹上苑の近況を家族に説明し、情報を共有することができた。また、新型コロナウイルス関連で面会方法やワクチン接種等について説明し、家族の意向を確認できた。

### 13. 見学、実習

#### 1) 見学受入状況

新型コロナウイルス感染症拡大により受け入れ中止
-------------------------

#### 2) 実習生受入状況

分野	学校、機関名	実人数	期間	延べ人数
社会福祉士	立正大学	3名	12日	36名
	群馬社会福祉専門学校	1名	24日	24名
	日本社会福祉事業大学	1名	15日	15名
看護師	北里大学看護専門学校	3名	4日	12名
	熊谷市医師会看護専門学校	30名	2～3日	76名
訪問看護師養成研修	埼玉県看護協会	18名	1日	18名
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、8月から受け入れを開始したため、延べ人数は昨年度の約半数となった。</li> <li>・今年度は社会福祉士を目指す学生を多く受け入れ、福祉に関わる人材育成の一旦を担うことができた。</li> </ul>			合計
				181名

### 14. ボランティア活動状況

活動名	所属	訪問数	延べ人数
美容	吹上美容組合	8回	36名
	吹上苑家族会他	8回	15名
歌クラブ	個人	10回	10名
合計		26回	61名
要約	新型コロナウイルス感染症の拡大によりボランティアの受け入れを制限したため、活動数は大幅に減少した。コロナ禍においても広報誌「らららん」で吹上苑の情報や取り組みを発信し、地域とのつながりに努めた。		

## ＜2＞特別養護老人ホーム吹上苑

### 1. 目標、具体的活動計画の評価

#### 目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

ひとり一人の暮らし方を尊重するために、入居者の想いを大切にす

1) 入居者の声に耳を傾け、想いを汲み取る 【評価】コロナ禍で他のユニットとの交流が制限され、思うように友人に会えなくなってしまった入居者の気持ちを察し、代わりになれるよう、職員との会話の機会を増やすよう努めた。
2) 日常生活の中にダイバーショナルセラピーや季節ごとのイベントを取り入れ、入居者の生活の質を向上させる 【評価】ダイバーショナルセラピーワーカーに助言してもらい、日常生活の中にキーワードとして、入居者自らが主体的にチョイス(選択)する(エプロンの色、今日着る服、何をするかなど)ことを取り入れることができた。
3) 入居者の身体状況に合った福祉用具を使用し、安全で安楽な介護を実践するとともに、その人らしい自立支援を目指す 【評価】座位姿勢や臥床中の体位などに課題のある入居者には、リハビリ委員が中心となって、福祉機器の選定や調整・ポジショニング等を実施。他のケアワーカーも技術を学ぶことで、より安全で安楽な介護が実践できた。

#### 目標2. 職員として:チームワーク

専門職の連携を活かした職場をつくるために、チームケアの充実を図る

1) 入居者の希望を叶えるために、ケアカンファレンスで多職種が意見を出し合い、支援の方向性を統一する 【評価】担当者を中心に、早急に対応が必要な場合はその都度、ケアカンファレンスを開催した。日々の変化を迅速に発見し、共有することで、多職種間で支援の方向性を統一できた。
2) 施設内研修に参加し、ケアの質を向上させる 【評価】コロナ禍で研修の数は減ってしまったが、開催された「虐待防止」「アンガーマネジメント」「感染予防」などは、できる範囲で受講した。ソーシャルディスタンスを取りながら集中して臨み、新たな知識を学ぶことができた。

#### 目標3. 地域に対して:支え合い

家族、地域ボランティアと良い関係性を築く

1) 家族には、入居者の普段の様子や体調の変化などを常に伝える 【評価】コロナ禍でガラス越し面会となり、ケアワーカーが直接家族に様子を伝えられる機会は減少したが、代わりに2月から写真入りの「いい風たより」を作成し、毎月郵送することによって、入居者の様子を定期的に伝えることができた。
2) ボランティアには、それぞれの入居者の希望や楽しみを伝える 【評価】入居者が楽しみにしている毎月の美容ボランティアは、髪型などの希望を職員から伝えるなど、新型コロナウイルス感染対策を徹底して実施した。

## 2. 行事实施状況

さくら橋町(特養 1 階)

月	行事名
4 月	プリンアラモードで誕生日会
5 月	フルーチェで誕生日会
6 月	ケーキで誕生日会
7 月	おやつバイキング&誕生日会
8 月	バナナパフェで誕生日会
9 月	敬老会
10 月	花火大会、誕生日会、ふっきい祭
11 月	ケーキで誕生日会、畑の野菜収穫祭 part1
12 月	クリスマス会&誕生日会、畑の野菜収穫祭 part2
1 月	新年会、栄養課出張寿司&誕生日会
2 月	節分、お菓子釣り、ケーキで誕生日会
3 月	煮物とお好み焼きで誕生日会、マックの味を楽しもう、お花見
成果、感想	今年度から、野菜作りを庭の畑で始めた。入居者には収穫や料理を手伝ってもらい、昔を思い出しながら包丁で野菜を切ってもらうなど、新たな楽しみとなった。コロナ禍で閉鎖的になりがちだが、毎月実施した行事では入居者の笑顔をたくさん見ることができた。

せせらぎ町(特養 2 階)

月	行事名
4 月	春のお茶会
5 月	誕生日会(こふき芋を作って食べよう)
6 月	誕生日会(米寿のお祝い) ミニ音楽クラブ
7 月	縁日、誕生日会
8 月	誕生日会(おやつバイキングでお祝い)
9 月	敬老会、誕生日会
10 月	誕生日会、ふっきい祭
11 月	誕生日会(旬のうなぎ)
12 月	誕生日会(福袋を全員に)、収穫祭(すいとん作り)
1 月	誕生日会(正月遊び、おみくじ)
2 月	栄養課出張寿司、節分、誕生日会
3 月	誕生日会、スイーツバイキング、お花見
成果、感想	入居者の希望を聞き、季節の行事を意識して、毎月様々な企画を実施した。収穫祭では、包丁で野菜を切る時は、「久しぶりだけど、やってみよう」と、また、入居者同士で協力して作る際は、「おいしくなるといいね」といった声が聞かれた。縁日では、射的などを手作りした。「すごい」といった声や「楽しい」と笑顔が見られた。敬老会では、職員が招待券を作成し、苑内写真館へ招待した。生花と一緒に華やかな着物姿での写真をたくさん撮影することができた。その他の行事も職員全員で準備し、入居者をたくさん笑顔にできた。来年度も感染対策を徹底し、コロナ禍でも楽しめる様々な企画を考え、実施していきたい。

### < 3 > ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑

#### 1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

入居者の声に耳を傾け、その人が自分らしく生活できるように支援する

1) コミュニケーションを大切にし、表情や日頃の様子から気持ちや想いを汲み取る 【評価】コロナ禍で家族に会えない寂しさを汲み取りながら、声掛けを大切にし、何気ない会話や様子から、その方が本当に必要としているものは何かを見極め、生活スタイルや、その方のペースに合わせたケアを行うことができた。
2) 穏やかな気持ちで過ごせるよう、居心地の良い空間をつくる 【評価】共同スペースは、それぞれ好みが違うため、過ごしやすいように家具の配置や装飾品で工夫した。居室は、本人の意向や好みに合わせ、居心地の良い空間を提供できた。
3) 月に1回以上、入居者が笑顔で楽しめる催し物を企画する 【評価】誕生日の方がいる月は、その方のリクエストに応じた誕生日会を行った。その他にも季節に合わせた行事を行うことができた。
4) 生活スタイルや身体状況に合った福祉機器を活用し、心身の負担を軽減する 【評価】ポジショニングクッションやリフト、車いすなど、ひとり一人の生活スタイルや身体状況に合わせ、適切に使用することで心身の負担を軽減し、QOLを維持することができた。

目標2. 職員として:チームワーク

それぞれの専門性を尊重し、多職種で連携・協働する

1) 相談し合える環境、関係をつくる 【評価】入居者の心身のことで疑問に思ったこと、相談したいことがあった場合は、多職種で情報を交換し、それぞれの専門性を尊重しながら、相談し合える環境をつくることができた。
2) 他職種や委員から得た知識や意見を聞き、ケアに活かす 【評価】学習会等で普段知り得ない知識や情報を学び、日頃のケアに取り入れた。また、生活相談員や介護支援専門員が面会時に家族から聞き取った情報は、ユニット内での楽しみ活動等に活かすことができた。
3) 様々な視点から入居者をとらえ、ひとり一人に合わせたケアを行う 【評価】「自分の考え」だけにとらわれず、他の介護職員や多職種の意見・考えを取り入れ、ひとり一人に合わせたより良いケアを提供することができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

地域の方との関わりを大切にし、開かれた施設を目指す

1) 地域住民、ボランティア、家族、友人が入居者と一緒集える場所を提供する 【評価】コロナ禍で「集える場所を」を提供することは困難であったが、かろうじてガラス越し面会が続けられたことで、入居者・家族・職員の関係を何とか保つことができた。
2) 吹上地域を拠点とする高齢者施設として、地域、ボランティア、家族とのつながりを大切にする 【評価】コロナ禍でもボランティア活動を続けてもらい、美容などを継続することができた。ボランティアさんに感謝するとともに、つながりの大切さを改めて実感させられた。

3) 広報誌「ららん」を年に4回発行し、吹上苑の取り組みを発信する

【評価】普段の様子を広報誌に載せ、伝えることができた。また、面会制限で十分なコミュニケーションが取れない家族のために、2月から「いい風たより」の発送を毎月行い、近況を伝えることができた。これからも継続して入居者の様子を伝えていきたい。

## 2. 行事実施状況

### コスモス町、本丸町(ユニット型特養 1 階)

月	行事名
4 月	誕生日会、焼きそば・フライを食べよう！
5 月	誕生日会、100 歳の誕生日会
6 月	デザートを楽しむ会、お菓子パーティー
7 月	かき氷パーティー、誕生日会、本丸町流しそうめん
8 月	コスモス町流しそうめん、夏のお楽しみ会、すいか割り
9 月	誕生日会、敬老会・お茶会
10 月	誕生日会、旬のカボチャを美味しく味わおう、ふっきい祭
11 月	誕生日会、おやつバイキング
12 月	クリスマス会・忘年会
1 月	新年会(お正月を楽しもう)、誕生日会
2 月	誕生日会、お楽しみ会、節分
3 月	誕生日会、栄養課出張寿司、うなぎを食べよう、お花見
コスモス町 成果、感想	誕生日会では、入居者のリクエストに応え、お寿司やピザ、舟盛りなどを提供したところ、とても嬉しそうだった。栄養課が企画したおやつバイキングでは、たくさんのデザートを召し上がり、大満足だった。今後も楽しい時間が過ごせる行事をたくさん企画したい。
本丸町 成果、感想	コロナ禍のため、外出行事はお花見だけしか行えなかったが、毎月、誕生会や季節に合わせた行事を行うことができた。栄養課の協力のもと、おやつバイキングや栄養課出張寿司等も実施し、入居者に喜んでもらうことができた。来年度も、引き続き楽しめる企画を計画したい。

### 人形町、しらさぎ町(ユニット型特養 2 階)

月	行事名
4 月	手作りデザート、ゲームやカラオケを楽しむ会
5 月	誕生日会
6 月	誕生日会、おやつバイキング
7 月	すいか割り！ プチ縁日
8 月	人形町・しらさぎ町合同流しそうめん、夏祭り、お菓子パーティー
9 月	誕生日会、敬老会・お茶会
10 月	誕生日会、ふっきい祭、おやつバイキング
11 月	誕生日会、お菓子パーティー
12 月	栄養課出張寿司、誕生日会、クリスマス会、忘年会
1 月	新年会、誕生日会、焼肉パーティー
2 月	誕生日会、節分
3 月	誕生日会、たこ焼きパーティー、お花見
人形町 成果、感想	毎月開催した誕生日会では、事前に入居者の食べたい物を聞き、企画することができた。季節の果物やステーキ、お新香、お寿司、ケーキ等、ひとり一人の要望を取り入れることで、とても喜んでもらった。また、季節を感じてもらえるような行事(流しそうめん、縁日、クリスマス)も皆で楽しむことができた。行事を行うと、しばらくの間「あれは良かったよ、ありがとね」と言ってもらえ、職員のモチベーションも向上した。来年度も笑顔になってもらえる行事を企画したい。
しらさぎ町 成果、感想	10 月のおやつバイキングでは、工夫を凝らした栄養課手作りのおやつを提供し、とても喜ばれた。誕生日会では、入居者の食べたい物を用意し、ユニットでお祝いをした。コロナ禍で思うようにいかない一年ではあったが、少しでも楽しんでもらえるよう、気分転換になるような企画を行った。これからも入居者の想いを第一に、笑顔が見られるような企画を行っていききたい。

特別養護老人ホーム吹上苑 ユニット型特別養護老人ホーム吹上苑 統計資料

1) 年齢・性別(令和3年3月31日現在)

従来型	男性	女性	合計	平均年齢	87.1
～64歳	1	0	1		
65～69歳	0	0	0		
70～74歳	1	0	1		
75～79歳	1	4	5		
80～84歳	3	9	12		
85～89歳	1	10	11		
90歳～	1	19	20		
合計	8	42	50		

ユニット型	男性	女性	合計	平均年齢	89.9
～64歳	0	0	0		
65～69歳	2	0	2		
70～74歳	2	0	2		
75～79歳	0	0	0		
80～84歳	0	5	5		
85～89歳	3	11	14		
90歳～	1	24	25		
合計	8	40	48		

2) 介護度内訳(令和3年3月31日現在)

従来型

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	4.08
0	3	9	19	19	50		

ユニット型

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度	3.95
1	3	11	15	18	48		

3) 障害老人日常生活自立度(令和3年3月31日現在)

従来型

J	A	B	C	合計
0	7	31	12	50

ユニット型

J	A	B	C	合計
0	11	26	11	48

4) 認知症老人日常生活自立度(令和3年3月31日現在)

従来型

なし	I	II	III	IV	M	合計
0	0	8	30	12	0	50

ユニット型

なし	I	II	III	IV	M	合計
1	2	8	26	11	0	48

5) 入退居状況

従来型	入居	退居	退居理由
男性	7	7	入院 1名
女性	12	11	死亡 17名
合計	19	18	(看取り17名)

(死因内訳)

老衰:14 レビー小体型認知症:1  
肺炎:1 脳卒中疑い:1

退居者平均年齢 85.9歳。

ユニット型	入居	退居	退居理由
男性	3	0	他施設に入所1名
女性	9	12	死亡 11名
合計	12	12	(看取り11名)

(死因内訳)

老衰:8 誤嚥性肺炎:1  
胆のう癌:1 慢性腎臓病憎悪:1

退居者平均年齢92.1歳。

## 6) 回診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配置医	4	4	5	5	3	5	4	4	4	4	4	4	50
歯科	0	0	2	1	0	1	1	1	3	2	1	1	13

北足立郡歯科医師会による訪問歯科(第2・4火曜日)

## 7) 一般受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	1	1	7
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	1	1	2	2	0	0	3	0	1	0	0	1	11
皮膚科	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	5
脳外科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	2	0	6
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
歯科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	1	4	4	1	2	4	4	1	5	4	3	34

## 8) 入院状況

上段:人数 下段:日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入院日数	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	12
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
入院日数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	13	0	16
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
入院日数	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
人数合計	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	5
入院日数合計	0	0	0	0	6	0	12	3	0	8	13	0	42

## 9) 救急車搬送状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

主な病名 骨折、嘔吐等

## 10) 診断名状況(複数あり)

診断名状況	男	女	合計	診断名状況	男	女	合計
脳血管性疾患	21	26	47	肺炎他	2	0	2
高血圧症	8	43	51	脊髄小脳変性症	0	0	0
アルツハイマー型認知症	2	31	33	慢性腎不全	0	3	3
脳血管性認知症	3	5	8	慢性気管支炎	0	2	2
精神科疾患	0	11	11	血小板減少症	0	0	0
糖尿病	5	10	15	食道裂孔ヘルニア	0	1	1
癌	1	6	7	逆流性食道炎	0	3	3
心疾患	4	32	36	甲状腺機能低下症	0	2	2
パーキンソン病	1	3	4	脂質異常症(高脂血症)	0	6	6
変形性膝関節症	1	11	12	貧血	0	1	1
変形性脊椎症(腰椎症を含む)	2	6	8	高尿酸血症	0	0	0
関節リウマチ	0	6	6				

## 11) 健康診断等

8月 胸部レントゲン、心電図、血液検査、血圧測定 (入居者全員)

10月 インフルエンザ予防接種

12)稼働率

従来型

(単位:%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
99.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	99.8	99.7	98.9	99.4	99.8

ユニット型

(単位:%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
100.0	99.8	99.8	100.0	99.3	99.9	99.1	99.6	99.7	99.3	99.6	100.0	99.7

## < 4 > 短期入所生活介護事業所吹上苑

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者同士の交流の場として、あたたかい環境をつくる

1) 利用者同士の関係性を大切にし、心地良い空間をつくる 【評価】利用者同士の関係性を考慮して座席位置を調整したり、ゆっくりお話ができるようにフロア以外にも陽当たり の良い窓際にスペースをつくったり、天気の良い日はベランダで過ごせる時間をつくった。
2) 季節に合わせた行事を通し、皆で楽しめる活動を行う 【評価】制限の多い年だったが、縁日、クリスマス会等の行事や毎月のおやつ作りを通して、季節を楽しめる機会を つくれた。
3) 初めての利用者でも不安なく利用できるように気配りし、次回利用につなげる 【評価】事前のアセスメントでの情報を職員間で共有し、利用時に安心して過ごせるように心掛けた。また、送迎時に 利用中の様子を家族に伝え、コミュニケーションを図った。

目標2. 職員として:チームワーク

明るい笑顔で互いに成長できる職場をつくる

1) 職員同士相談し合える環境をつくり、ストレスをため込まないようにする 【評価】明るい雰囲気です話しやすい環境をつくることができた。体調不良時なども無理せず休むことができるような雰 囲気づくりと勤務調整を行うことができた。
2) 業務を円滑に行えるよう、活発な意見交換をし、業務内容を見直す 【評価】各業務の担当者を中心に、会議以外でも業務内容の検討を随時行うことができた。
3) 利用者の緊急時や災害に対応できるように、当施設内での学習会や訓練に参加する 【評価】今年度は感染症対策を中心に、緊急時の対応を学習会で学ぶことができた。また、災害時に対応できるよ う火災想定と洪水想定避難訓練に参加した。

目標3. 地域に対して:支え合い

地域の高齢者や家族のニーズを把握し、災害時でも利用しやすい体制をつくる

1) 家族の介護負担状況を把握し、レスパイトケアを提供する 【評価】家族の体調不良時や、退院後の自宅での生活が不安な方への受け入れを随時行い、レスパイトケアを提供 することができた。
2) 災害時に地域と連携し、必要に応じて受け入れ体制を整える 【評価】新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対策を講じ、居室などの環境整備を行った。

## 2. 活動実施状況

実施月	活動名	実施内容、評価
4月	おやつ作り(フルーツやアイスのドリンク)	【おやつ作り】 手作りの「フルーツティー」と「クリームソーダ」から、好きな方を選んでもらい、ショートケーキと一緒に召し上がっていた。フルーツを瓶に詰めてもらうなど、作る過程も含めて楽しんでもらった。
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
5月	パン祭り	【パン祭り】 ピクニックを予定していたが、天気が悪く、急遽「パン祭り」を開催した。目新しい種類を用意し、好きなパンを選んでもらったところ、何を食べようか迷いながらも楽しそうだった。
	おやつ作り(蒸しパン)	
	シネマ	
	壁絵作り	
6月	縁日	【ゲーム大会】 ゲーム(ヨーヨー釣り、輪投げ、魚釣り)を用意し、職員は法被を着て対応した。その場で焼きそばも作り、縁日を再現して盛り上がった。
	おやつ作り(スムージー)	
	シネマ	
	壁絵作り	
7月	かき氷カフェ	【かき氷カフェ】 職員がカフェ店員に扮し、メニューからお好きなかき氷と飲み物を選んでもらった。かき氷は、カフェ仕様に飾り付けて提供し、カフェの雰囲気を楽しんでもらった。
	すいか割り	
	おやつ作り(ピザ)	
	シネマ	
8月	おいしい天ぷらとそうめんを食べる	【天ぷらとそうめん】 新型コロナウイルス感染防止のため、今年は流しそうめんを中止し、手作りの天ぷらとそうめんをゆっくり味わってもらった。
	シネマ	
	おやつ作り(炭酸まんじゅう)	
	壁絵作り	
9月	栄養課出張寿司(ブリの解体ショー)	【栄養課出張寿司】 栄養課による迫力のあるブリの解体ショーとお寿司は、大変喜ばれ、皆様に好評だった。 【敬老会】 着物で写真撮影を行った。その後はお菓子をを用意して、参加者全員でお祝いをした。
	敬老会	
	シネマ	
	おやつ作り(白玉ぜんざい)	
10月	壁絵作り	【ふっきい祭】 今年は屋内での開催となったが、「かき氷」や「お好み焼き」などの食べ物だけでなく、「ふっきいすくい」や「着ぐるみじゃんけん」などのゲームも用意し、例年に負けない盛り上がりとなった。 【秋の運動会】 紅組と白組に分かれ、大玉送りやパン食い競争で対決した。応援にも熱が入り、今年は白組が優勝した。
	パドル体操	
	おやつ作り(パンプキンスープ&リンゴジャム)	
	シネマ	
11月	ふっきい祭	【花火大会】 お菓子とジュースを用意して、屋内から眺めてもらい、安全に楽しんでもらった。 【おやつ作り】 当日は工事により停電・断水となっていたが、少しでも楽しんでもらおうと、フライやコロッケなど、おいしいおかずを用意して、いつもと違う昼食を楽しんでもらった。
	秋の運動会	
	打ち上げ花火大会	
	壁絵作り	
11月	パドル体操	

実施月	活動名	実施内容、評価
12月	クリスマス会	<b>【クリスマス会】</b> 4種類のケーキからお好きな物を選んでもらった。クリスマスツリーを飾り、サンタクロースの帽子を被って、クリスマスの雰囲気を楽しんでもらった。
	忘年会	
	おやつ作り(サンドイッチ)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
1月	新年会	<b>【新年会】</b> 書初めや福笑いをして、新年をお祝いした。かるた取りでは喜んだり悔しがったりと盛り上がっていた。
	カラオケ大会	
	おやつ作り(いちごシェイクとパウンドケーキ)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
2月	節分	<b>【おやつバイキング】</b> ケーキやあんみつなどの甘いものからたこ焼きまで、たくさんの種類のおやつを用意した。普段あまり食べない方も喜んでくださり、何度もお代わりをしていた。
	おやつバイキング	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	
3月	雛祭り	<b>【雛祭り】</b> 皆さんが好きなお刺身を栄養課が豪華な刺身盛りにして提供した。見た目にも楽しく、喜ばれていた。おやつには雛あられを用意し、雛祭りの雰囲気を楽しんでもらった。
	おやつ作り(桜もち)	
	シネマ	
	壁絵作り	
	パドル体操	

### 3.短期入所生活介護事業所吹上苑 統計資料

#### 1)年齢・性別(令和3年3月31日現在)

	男性	女性	合計		男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0	平均年齢	84.2	86.9	86.5
70～74歳	1	2	3	最年少	70	72	
75～79歳	1	2	3	最年長	97	99	
80～84歳	2	8	10				
85～89歳	3	18	21				
90歳～	2	12	14				
合計	9	42	51				

#### 2)要介護度内訳(令和3年3月31日現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
0	2	6	18	9	8	6	2	51

#### 3)終了理由

吹上苑		吹上苑以外						合計
施設入居		長期入院	転居	本人希望	家族希望	死亡		
21	4	6	0	0	1	9	41	

#### 4)新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	6	9	4	3	2	6	3	6	4	3	48

#### 5)月間利用状況

	営業日数													合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
	実人数													合計	
	要支援	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	19	
要介護	55	51	58	65	58	59	59	64	59	51	52	49	680		
合計	56	52	60	67	59	60	60	66	61	53	54	51	699		
	延べ人数													合計	1日平均
	要支援	8	9	16	9	10	8	8	12	10	13	10	12	125	0.3
要介護	815	847	865	884	860	912	906	804	753	736	759	784	9,925	27.2	
合計	823	856	881	893	870	920	914	816	763	749	769	796	10,050	27.5	

#### 6)夕食利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	3	2	4	6	1	4	4	4	6	8	6	50
延べ食数	6	5	9	13	8	2	11	7	8	11	14	13	107

## < 5 > 栄養課

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

#### 目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者の希望や思いに寄り添い、最期まで食べやすく、安全でおいしい食事を提供する

1) 喫食状況調査や食事介助を通して、利用者の栄養状態、摂食状況、嗜好等を把握する 【評価】職員全員が、利用者の食事の感想を読み、利用者の摂食状況を把握できた。また、食事介助を通して、より食べやすい形状、盛り付け、素材などをしっかり理解することができた。
2) 職員の意識や知識を向上させるため、勉強会を年間 10 回実施する 【評価】食材、切り方、あんの形状、保温、仕込み方法など、細かいところまで適切であるかを確認し、共通認識を持つことができた。
3) 季節や旬を楽しんでいただけるよう、行事食を年間 48 回実施する 【評価】新型コロナウイルス感染症の拡大により、6月のお茶会は中止となったが、それ以外の行事食 47回を実施することができた。
4) 利用者が安全に最期まで経口摂取できるような嚥下調整食を確立する 【評価】利用者ひとり一人の摂食機能を確認し、安全に経口摂取できるような食事形態に対応することができた。また、ソフト食の導入を進めることができた。

#### 目標2. 職員として:チームワーク

ホウレンソウ(報告・連絡・相談)のしやすい職場、多職種で連携・協力し、お互いが成長し合える職場、働きやすい環境をつくる

1) 大量調理施設衛生管理マニュアル勉強会を年間 12 回実施し、衛生面に関する知識を高め、栄養課全員で理解し、実行する 【評価】大量調理衛生管理マニュアルや感染症に関する勉強会を実施し、栄養課全員の衛生意識を向上させることができた。
2) 他職種の業務を理解し、みんなが気持ちよく働けるように、お互い支え合い尊重し合う 【評価】発熱者への使い捨て食器での食事提供や、ユニットの状況に合わせた献立作成など、他職種の状況を理解して協力することができた。
3) 新メニューを開発し、献立に取り入れる 【評価】新しい食材、季節の食材を使った新メニューを取り入れることができた。

#### 目標3. 地域に対して:支え合い

デイサービス、ショートステイ、あかね雲、介護予防教室を利用する高齢者の食生活を支援する

1) 高齢者や家族、地域の様々なニーズや変化を把握し、食事の面で支える 【評価】ショートステイ会議や栄養会議に出席し、地域高齢者やその家族の状況を把握することができた。
2) 摂食状況の変化をとらえ、その時々合った食事形態で安全な食事を提供する 【評価】利用曜日と食材に気をつけるなど細かく配慮し献立を作成できた。また、摂食状況を確認し、より食べやすい食事形態や食器を提案することができた。

## 2. 行事食・選択食

月	日	曜日	行事名	行事食	月	日	曜日	行事名	行事食
4	3	金	お花見献立	いなり寿司・サラダ巻き寿司	10	29	木	十三夜	月見まんじゅう
	8	水	花祭り献立 (お釈迦様の誕生日)	肉団子の彩り蒸し・桜もち		31	土	ハロウィーン	南瓜プリン
	29	水	昭和の日	かつ丼	11	3	火	文化の日	松花堂弁当(栗おこわ、天ぷら、柿とくるみの白和え)
5	3	日	憲法記念日	松花堂弁当(赤飯、鮭の西京焼き、メロン、すいか)		14	土	埼玉県民の日	ゼリーフライ
	4	月	みどりの日	菜飯 カラス鱈のグリーンソース		23	月	勤労感謝の日	お刺身
	5	火	こどもの日	チキンライス・ハンバーグ 柏もち		29	日	おやつバイキング (コスモス町・本丸町)	フルーツツリー・いちごショートケーキ チーズテリーヌ・プッシュドノエル
	10	日	母の日	太巻き寿司	21	月	冬至	冬至南瓜・柚子	
6	7	日	選択メニュー	スパゲティ・洋風雑炊	12	25	金	クリスマス	ピラフ・星とハートのコロッケ
	21	日	夏至・父の日	冷汁うどん・すいか		31	木	年越し	年越しそば・天ぷら
7	7	火	七夕	七夕そうめん・天ぷら	1	1	金	新年会	松花堂弁当(祝膳、栗きんとん、黒豆、矢羽根羊羹、伊達巻)
	14	火	おやつバイキング (さくら橋町)	ロールケーキ・ガトーショコラ・梅ゼリー・シフォンケーキ・三色おはぎ		2	土	お正月	金目鯛粕漬け・おしるこ
	21	火	土用の丑の日	うな丼		3	日	お正月	桜海老ごはん・紅白肉団子蒸し 雪中南天・栗きんとん
	23	木	海の日	焼きそば・すいか		7	木	七草	七草粥
	24	金	スポーツの日	いなり寿司		11	月	成人の日 鏡開き	赤飯・お刺身 おしるこ
8	2	日	土用の丑の日	うな卵丼	2	20	水	大寒	あんかけうどん・甘酒
	6	木	おやつバイキング (せせらぎ町)	どら焼き・ブルーベリーチーズケーキ・桃のパナコッタ・ようかん		2	火	節分	太巻き寿司
	10	月	山の日	冷やし中華		3	水	立春	桜海老ごはん・かに錦
	13	木	迎え盆	おはぎ		11	木	建国記念日	海鮮漬け盛り
9	16	日	送り盆	穴子丼・いがまんじゅう	3	14	日	バレンタインデー	ハートのコロッケ 豆腐とチョコのテリーヌ
	1	火	防災の日	おにぎり・豚汁		23	火	天皇誕生日	天ぷら・お刺身
	13	日	敬老会	抹茶とホワイトチョコのムース きつみ芋のシフォンケーキ		1	月	創立記念日	松花堂弁当(たけのこごはん、木の芽焼き、ケーキ)
	21	月	敬老の日	松花堂弁当(松茸ごはん、銀だらの西京焼、りんごコンポート) 紅白まんじゅう		3	水	雛祭り	菜の花ちらし寿司・桜もち
10	22	火	秋分の日(秋の彼岸)	おはぎ	3	12	金	おやつバイキング (せせらぎ町)	いちご大福・桜のチーズケーキ・いちごのゼリー・浮島・バラのケーキ
	1	木	十五夜	月見まんじゅう		14	日	ホワイトデー	自家製いちごババロア
	7	水	おやつバイキング (人形町・しらさぎ町)	芋ようかん・南瓜プリン・レアチーズケーキ・シフォンケーキ		20	土	春分の日(春の彼岸)	桜ちらし寿司・ぼたもち
11	日	ふつきい祭	たい焼き・みそポテト ジュース・ビール等						
成果・感想			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間47回の行事食を実施できた。</li> <li>・5回のおやつバイキングを実施できた。</li> </ul>						

### 3. 栄養実績

月	食 数			熱量 (Kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	塩分 (g)	栄養ケア・マネジメント									
								体重減少率(人)				副食形態(人)					
	総喫食数	特養	ショート	給与栄養目標量 実給与栄養量				3か月		6か月		介護食		嚥下食			
				給与率(%)				特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養	特養	ユニット型 特養		
								中リスク (3%以上7.5%未満)	高リスク (7.5%以上)	中リスク (3%以上10%未満)	高リスク (10%以上)	ふつう	きざみ ごくきざみ	ゼリー	ペースト		
4	12,424	8,680	2,183	1,393	51.4	36.5	7.7	7		15		7	4	5	7		
				1,476	57.1	41.0	7					15	14	23	22		
			1,110	106.0	111.1	112.3	90.9	1		2							
5	12,738	8,940	2,273	1,380	50.9	36.1	7.7			8		13	7	4	5	8	
				1,482	56.4	41.1	6.9										
				1,073	107.4	110.8	113.9	89.6	1		2		16	14	22	21	
6	12,625	8,698	2,319	1,396	51.5	36.5	7.7					7	5	6	7		
				1,467	56.6	41.1	7.2										
			1,159	105.1	109.9	112.6	93.5					15	14	21	21		
7	12,988	8,997	2,316	1,398	51.6	36.6	7.7	6		11		8	2	7	7		
				1,473	57.2	39.3	7.2										
				1,199	105.4	110.9	107.4	93.5	0		1		15	18	20	20	
8	12,857	8,972	2,354	1,398	51.6	36.6	7.7			6		10	8	2	6	8	
				1,470	55.6	39.8	6.8										
				1,076	105.2	107.8	108.7	88.3	3		5		16	18	20	19	
9	12,660	8,662	2,449	1,398	51.6	36.6	7.7					5	2	6	9		
				1,475	56.9	39.1	7.1										
			1,116	105.5	110.3	106.8	92.2					16	16	20	20		
10	13,168	8,964	2,529	1,398	55.6	36.6	7.7	5		8		7	2	6	9		
				1,478	56.6	39.0	7.2										
				1,218	105.7	101.8	106.6	93.5	3		1		19	14	18	22	
11	12,387	8,648	2,214	1,398	55.7	36.6	7.7			8		12	7	3	6	6	
				1,473	56.0	38.8	6.7										
				1,082	105.4	100.5	106.0	87.0	0		0		18	13	19	24	
12	12,553	8,944	2,055	1,392	55.6	36.4	7.7	4		10		7	3	8	5		
				1,479	56.7	39.2	7.2										
			1,105	106.3	102.0	107.7	93.5	1		1		17	15	17	24		
1	12,375	8,916	2,028	1,394	55.7	36.5	7.7					8	2	9	5		
				1,485	57.6	38.5	6.8										
			952	106.5	103.4	105.5	88.3					16	16	17	24		
2	11,604	8,106	2,117	1,404	55.7	36.6	7.7			4		7	7	2	10	5	
				1,479	56.7	39.2	7.2										
			980	105.3	101.8	107.1	93.5	2		2		16	16	17	25		
3	12,787	9,056	2,194	1,404	55.7	36.6	7.7					7	2	9	6		
				1,474	55.9	39.3	7.0										
			1,104	105.0	100.4	107.4	90.9					17	15	17	25		
総計	151,166	105,583	40,205	16,753	642.6	438.2	92.4	22	26	44	42	85	33	83	82		
				17,711	679.3	475.4	84.3	5	6	5	9	196	183	231	267		
平均	12,597	8,799	3,350	1,396	53.6	36.5	7.7	6		7		11	11	7	3	7	7
					1,476	56.6	39.6	7.0									
					105.7	105.6	108.5	90.9	1	2	1	2	16	15	19	22	

・エネルギー、蛋白質、脂質、カルシウム、ビタミンA、B1、B2、Cの全てにおいて給与栄養目標量に対し、100%以上供給することができた。食塩は、7.7g未満を達成することができた。  
 ・総食数は、151,166食で前年比97%、マイナス4,126食だった。  
 ・食材費は、1日1人当たり平均688円となり、予算720円比96%、前年比101%となった。

## < 6 > デイサービスセンター吹上苑

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

#### 目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

ひとり一人の心に寄り添い、「自立支援」「自己決定」の実現を目指す

1) 担当介護支援専門員と密に連絡を取り、利用者、家族の想いを把握し、ケアに活かす 【評価】利用者、家族ひとり一人の希望や想いに寄り添い、傾聴し、ケアに活かすことができた。また、利用者の心身の状態変化についても詳細に記録し、介護支援専門員と密に連絡を取り、生活に関する提案やアドバイスができた。
2) ひとり一人のできること、できないことを見極め、必要なサポートをする 【評価】朝の申し送りや日々の記録で、利用者の心身の状態変化を職員間で共有することで、ひとり一人の ADL (日常生活動作)を把握し、適切な介護ができた。
3) ひとり一人の生きがいになることや、担える役割を見つけ、実践する 【評価】毎日の生活に楽しみを見つけ、心身の活性化を図ることができた。クラブ活動では、ひとり一人の趣味を継続できた。また、簡単なデイサービスでの手伝いは、利用者の役割として継続されている。
4) 吹上苑版ユマニチュードを念頭に置き、認知症ケアに活かす 【評価】認知症の方と向き合うことで、「その人らしく」「穏やかに」「安心して」過ごせるよう、利用者のニーズに応じたケアができた。
5) 自立支援と重度化防止に向け、定期的にひとり一人の ADL の評価を実践し、機能訓練の一環としてレクリエーションの充実や体操、苑内散歩を継続する 【評価】利用者の ADL レベルの維持・向上ができるよう、積極的に体操や苑内散歩への参加を促した。アウトカム評価をしたところ、ADL 維持等加算の取得には至らなかったが、今年度も維持・向上できた。

#### 目標2. 職員として:チームワーク

ひとり一人がそれぞれの役割・専門性を尊重し、チームケアを継続する

1) 毎月の業務会議で職員各々から議題を挙げてもらい、活発な意見交換と業務改善を行う 【評価】効率的に業務が行えるよう、気づきや提案を議題として取り上げ、職員全体で話し合い、業務内容の改善につなげた。
2) 業務を円滑に行うために、業務内容を把握した上で、職員個々の役割を分担する 【評価】日々のシフトを明確にすることで、円滑に業務を行うことができた。また、急な変更で担当者が代わっても引き継ぎをし、滞りなく業務を行うことができた。

#### 目標3. 地域に対して:支え合い

地域包括ケアシステムを推進するため、介護支援専門員や他職種と連携し、住み慣れた在宅での生活を支える

1) 地域ケア会議や、自立支援型地域ケア会議に参加する 【評価】コロナ禍により、やむを得ず会議への参加を見合わせた。
2) 地域の会議や研修に積極的に参加し、情報を得るとともに、地域の事業所との連携を深める 【評価】コロナ禍により、やむを得ず会議の参加を見合わせた。また、リモートでの研修も有効活用できなかった。

## 2. 活動実施状況

実施月	行事名	日程	行き先	参加人数
7月	すいか割り	21日	施設内	23名
12月	クリスマス会	26日	施設内	21名
1月	新年会	18日	施設内	29名
2月	節分	2日	施設内	22名
実施内容 評価	<p>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、毎月開催している外出行事は中止した。</p> <p>・苑内行事は、一部中止したが、12月からは感染症対策を徹底し、楽しんでいただいた。</p>			

	活動名	実施内容、評価	回数
クラブ 活動等	体操クラブ	参加者のADL(日常生活動作)やその日の体調に合わせて、安全を第一に考え、自宅でも取り入れられるような体操を無理なく行った。	9回
	ネイルクラブ	多くの方にネイルを体験していただこうと、未経験の方にも声をかけた。指先を綺麗にすることで、「気持ちに張りが出てきた」と喜ばれた。対面での職員との会話も楽しんだ。	16回
	絵手紙クラブ	会議室を使用することで、静かな環境で作品に集中することができた。講師の発案により、完成した作品を施設長や職員にプレゼントすることで、新たな交流が生まれた。	19回
	手芸クラブ	鞆に付けるアクセサリを作ったり、自宅に飾れる作品を作った。作業に集中し、完成すると、「素敵な作品ができた」と喜ばれていた。	15回
	書道クラブ	完成した作品は色画用紙に貼って展示することで、参加者に喜んでもらうことができた。書道経験のある利用者により作品を見てもらい、アドバイスをいただきながら、とても良い雰囲気の中で活動できた。	18回
	歌クラブ	誰もが聞いたことのある唱歌や季節の歌、昔の流行歌を取り入れ、孤立しないように配慮した。また、参加者からリクエストをもらい、多くの方々に満足してもらえるよう配慮した。歌の合間に、歌の内容に沿った質問を投げかけることで、過去に思いを馳せることができた。	17回
	こでまりの会(生け花)	ボランティア講師の指導により、真剣に集中して取り組むことができた。花の話題では参加者だけでなく、他の利用者との会話も弾んでいた。	12回
	誕生日会	ひとり一人の誕生日に、気持ちを込めたメッセージカードとプレゼントを贈り、祝うことができた。また、99歳、100歳の方の人生の節目をお祝いしたところ、本人、家族ともに大変喜ばれた。	随時
おやつ作り	新型コロナウイルス感染症の感染対策のため活動中止		

### 3. デイサービスセンター 吹上苑 統計資料

#### 1) 年齢・性別(令和3年3月31日現在)

	男性	女性	合計
65～69歳	0	1	1
70～74歳	1	1	2
75～79歳	1	7	8
80～84歳	0	9	9
85～89歳	2	22	24
90歳～	2	25	27
合計	6	65	71

	男性	女性	合計
平均年齢	84.0	87.4	87.1
最年少	71	68	
最年長	94	105	

#### 2) 要介護度内訳(令和3年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
2	3	11	21	16	10	4	3	1	71

#### 3) 終了理由

吹上苑		吹上苑以外		長期入院	転居	本人希望	死亡	その他	合計
施設入居	ショートステイ	施設入居	ショートステイ						
2	3	1	4	0	0	1	6	4	21

#### 4) 新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	0	2	1	3	2	0	0	2	0	13

#### 5) 月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	311	
	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27		
	実人数												合計	
	事業対象者	4	5	6	6	4	3	4	4	3	3	2	2	46
要支援	12	10	14	14	14	16	18	18	18	14	15	14	177	
要介護	63	62	63	64	64	65	63	62	56	56	55	55	728	
合計	79	77	83	84	82	84	85	84	77	73	72	71	951	
	延べ人数												合計	1日平均
	事業対象者	17	21	22	19	15	13	16	13	12	11	8	10	177
要支援	66	60	73	76	70	80	90	84	89	72	78	77	915	2.9
要介護	579	582	594	603	556	548	598	550	543	478	485	538	6,654	21.4
合計	662	663	689	698	641	641	704	647	644	561	571	625	7,746	24.9

#### 6) 夕食利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	16	14	16	22	18	18	17	20	16	16	14	14	201
延べ食数	133	135	140	153	141	143	155	159	148	134	116	116	1,673

## < 7 > あかね雲吹上苑（地域密着型通所介護）

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

認知機能の活性化の維持・向上に重点を置いたメニューを提供し、自立支援へつなげる

1) 利用者の想いを大切に、活動内容を見直しながら、脳活性化トレーニングを取り入れる 【評価】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の脳活性化トレーニングは行えなくなったが、利用者が楽しみながら活動に参加できるように、利用者の意見を参考に、ゲームやクイズなども取り入れた。
2) 利用者の残存機能を維持しながら、在宅生活が続けられるように、できることを増やす支援を行う 【評価】衣服の着脱や食事など、利用者ができることは、時間をかけてでも行っていただくように、安全面に配慮をしながら見守りを行った。
3) 利用者の生活に、楽しみが増えるような行事や、クラブ活動に参加できる機会を提供する 【評価】新型コロナウイルス感染対策を徹底し、苑内行事をできる限り行い、クラブ活動も続けることで、利用者の楽しみを減らさないように努めた。

目標2. 職員として:チームワーク

ICT の導入により、煩雑な業務内容や職員間の情報共有の在り方を見直す

1) ICT を活用し、毎日の申し送りや会議などの情報共有を効率化する 【評価】慣れるまでに時間がかかったが、ICT を導入したことで、記録などの業務が効率的に行えるようになった。
2) 研修や学習会を通して介護レベルの向上を図り、提供できるサービスの質を上げる 【評価】あかね雲の代表として、管理者・看護師が新型コロナウイルス感染症の研修を受講し、あかね雲で伝達講習会を開いた。
3) 業務内容を効率化し、利用者とのコミュニケーションの時間を増やす 【評価】記録にかかる時間を短縮することにより、利用者との関わりを増やすことができた。

目標3. 地域に対して:支え合い

他のサービス事業者や家族、地域の方々などと連携し、あかね雲のサービスの充実を目指す

1) 障がいのある方も利用できる「基準該当生活介護」を提供し、地域のニーズに広く対応する 【評価】基準該当生活介護の利用者 3 名が 65 歳となり、高齢者福祉へ移行することになった(内 1 名は基準該当生活介護を継続中)。今後も基準該当生活介護を続け、いつでも障がい者の利用者を受け入れる体制を整えておく。
2) 利用者とともに家族も参加できる行事を企画し、情報共有がスムーズに行える関係づくりを行う 【評価】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家族が参加できる行事を行うことはできなかったが、送迎時の申し送りやお便り帳などを利用し、情報の共有はこまめに行うように心掛けた。
3) 「運営推進会議」(6 か月に 1 度)の開催で、施設の状況や地域の課題について意見交換を行う 【評価】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面でのやり取りにはなってしまったが、情報提供と意見の収集を行い、貴重な意見をいただくことができた。

## 2. 活動実施状況

実施月	行事名	日程	行き先	参加人数
7月	避難訓練(水害想定)	4日	法人本部避難	当日出席者
	七夕行事	6日	施設内	当日出席者
	パドル体操	9日	施設内	当日出席者
8月	避難訓練(水害想定)	5日	法人本部避難	当日出席者
	パドル体操	10日	施設内	当日出席者
	すいか割り	27日	施設内	当日出席者
9月	パドル体操	12日	施設内	当日出席者
	避難訓練(火災想定)	22日	施設内	当日出席者
10月	運動会	2日	施設内	当日出席者
	パドル体操	8日	施設内	当日出席者
	紙芝居「えがお」	9日	施設内	当日出席者
	古墳公園散策	16日	さきたま古墳公園	2名
11月	緑道散策	4日	さきたま緑道	3名
	パドル体操	13日	施設内	当日出席者
	栄養課出張寿司	19日	施設内	当日出席者
12月	パドル体操	10日	施設内	当日出席者
	忘年会	28日	施設内	当日出席者
1月	初詣	4日、6日	吹上神社	計13名
		7日、8日		
12日、16日				
	パドル体操	13日	施設内	当日出席者
2月	節分	2日	施設内	当日出席者
	パドル体操	11日	施設内	当日出席者
3月	パドル体操	25日	施設内	当日出席者
	お花見散歩	24日、26日	元荒川沿い	計17名
		27日、29日		
30日				
実施内容 評価	<p>・新型コロナウイルス感染対策のため、6月までの外出行事、苑内行事、ボランティアの受け入れを中止した。</p> <p>・7月からは、感染対策を徹底した上で苑内行事を実施、10月からは、散策のみの外出行事を行った。</p> <p>・従来の行事を行うことはできなかったが、新型コロナウイルスによる自粛期間が長く続いたため、散策のみの外出行事であっても、とても喜んでいただくことができた。</p>			

	活動名	実施内容、評価	回数
クラブ 活動等	手芸クラブ	利用者の参加したい気持ちを大切にクラブ活動を実施した。「できるかしら」「難しいわ」という方にも気軽に参加できるように工夫した。作成中は、集中して取り組む姿や参加者同士で会話を楽しむ様子も見られた。また、完成した作品を展示し、皆で感想を伝え合うなど、交流を深めることができた。	24回
	園芸クラブ	春と秋に季節の花を利用者と一緒に植えた。きれいな花を見て「何という名前かしら」「家でも植えてみたい」「昔はお花が好きでよくやったわ」など、昔を懐かしみながら和やかに花を植えることができた。5月には野菜の苗の植え付けをした。胡瓜がだんだん大きくなるのを毎日チェックされ、食べ頃を教えてくださいました。胡瓜は漬物にして、おやつのおいしくいただいた。	4回

	活動名	実施内容、評価	回数
クラブ活動等	書道クラブ	曜日を固定せず、参加希望者の利用日に合わせて月2回行った。テーブルにアクリル板を設置したため、活動スペースが狭くなり、筆先がアクリル板についてしまうなどの不便をかけることもあった。その月に合ったお手本をいくつか用意し、その中から好きなものを選んで取り組んだ。1枚入魂の方や時間の許す限り書き続ける方など、それぞれのスタイルで書くことを楽しんでいた。	24回
	塗り絵クラブ	題材を選ぶところから始まり、何を、どの色で、どのように塗るかを自分で決めて、それぞれのペースで、楽しみながら行っていた。様々な作品を廊下に展示することで、多くの人の目に触れる機会となり、感想を述べ合う等、交流の場になった。	24回
	国語クラブ	希望者のみの参加で、月3回実施した。難読漢字や熟語クロスワードのパズル、ことわざ問題、俳句など、飽きないように内容を変えて問題用紙を作成。持ち帰ったり、家族に見せたり、楽しみにしていると話す利用者もいた。簡単すぎず、難しすぎない丁度良い内容をこれからも楽しみながら作成していきたい。	36回
	絵手紙クラブ	季節を感じられる題材を選んで、積極的に参加される利用者が多かった。参加者同士で見せ合い、会話をすることで交流を深めていた。作品を展示することで、参加されていない利用者にも見てもらい、意見交換の場にもなった。完成した作品を額に入れて持ち帰ってもらったところ、家族からも好評だった。	24回

### 3. あかね雲吹上苑 地域密着型通所介護事業 統計資料

#### 1) 年齢・性別(令和3年3月31日現在)

	男性	女性	合計		男性	女性	合計
65～69歳	0	4	4	平均年齢	85.8	82.7	83.0
70～74歳	0	1	1	最年少	80	65	
75～79歳	0	2	2	最年長	94	95	
80～84歳	2	8	10				
85～89歳	1	12	13				
90歳～	1	4	5				
合計	4	31	35				

#### 2) 要介護度内訳(令和3年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
2	3	7	9	6	5	2	1	0	35

#### 3) 終了理由

吹上苑		吹上苑以外		長期入院	転居	本人希望	死亡	その他	合計
施設入居	ショートステイ	施設入居	ショートステイ						
1	3	0	1	2	0	3	2	2	14

#### 4) 新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	1	3	2	2	1	1	1	1	0	1	15

#### 5) 月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311	
事業対象者	実人数												合計	
	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	1	2	27	
要支援	6	6	7	9	9	10	11	11	11	11	10	10	111	
要介護	25	25	26	24	23	23	21	22	22	21	20	21	273	
合計	33	33	35	35	35	36	35	36	35	34	31	33	411	
事業対象者	延べ人数												合計	1日平均
	8	8	8	9	9	13	10	11	7	8	1	5	97	0.3
要支援	44	48	52	57	64	65	77	68	72	62	52	60	721	2.3
要介護	223	206	252	241	214	201	210	177	198	184	198	230	2,534	8.2
合計	275	262	312	307	287	279	297	256	277	254	251	295	3,352	10.8

あかね雲吹上苑 基準該当生活介護(障がい者総合支援法)事業 統計資料

1)障がい区分・年齢・性別(令和3年3月31日現在)

	障がい区分							合計
	区分2	区分3	区分4	区分2	区分3	区分4	区分5	
	男性			女性				
～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	0	0	0	1	0	1

今年度新規利用はなく、2名が介護保険へ移行、1名は継続して利用。

2)月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月 26	5月 27	6月 25	7月 27	8月 27	9月 25	10月 27	11月 26	12月 26	1月 24	2月 25	3月 26	311	
	延べ人数												合計	1日平均
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
女性	21	20	20	21	14	12	12	9	12	7	7	8	163	0.5
合計	21	20	20	21	14	12	12	9	12	7	7	8	163	0.5

## < 8 > 介護予防教室吹上苑（はつらっデイサービス）

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

カラダ・アタマ・ココロの健康を維持し、地域で元気な生活が続けられるように支援する

1) 自立体力向上運動・脳トレ・スリーA 増田方式を実践し、楽しくコミュニケーションを取りながら、在宅生活が維持できるようなアプローチをする 【評価】コロナ禍で十分なコミュニケーションが取れない中でも、アクリル板の設置や用具の消毒を行い、安全にサービスを提供できた。在宅での制限された生活からひと時解放され、教室では皆さんの笑顔が見られた。
2) 介護予防メニューを実践する中で、ひとり一人の状況を把握し、その人に合ったサービスを提供する 【評価】定期的に体力測定を実施し、利用者ひとり一人の健康状態(体の弱点)を把握しながら、日々の運動メニューを考えた。コロナ禍においても体力の維持向上に結びつけることができた。
3) 自宅でも楽しく運動する気持ちのスイッチが入るような、簡単にできる運動・脳トレメニューを提供する 【評価】コロナ禍で外出や運動する機会が少なくなった利用者や自主的に利用控えした利用者へ、自宅でもできる運動やスリーAメニューを実践してもらうことで、フレイルの予防につなげることができた。

目標2. 職員として:チームワーク

職員ひとり一人の能力をアップさせ、介護予防のサービスの質の向上を目指す

1) 定期的に情報交換の場を持ち、お互いにレベルアップを図る 【評価】利用者情報を各職員がきちんと把握することにより、的確な対応ができ、利用者とのコミュニケーションを円滑に進めることができた。
2) シニア向けの運動・脳トレのツールを学び、みんなで一緒に成長していく 【評価】新型コロナウイルス感染症の拡大で予定していた研修が中止になったため、各自でインターネットや雑誌等で情報を収集し、新メニューを取り入れた。さらにメニューを充実させるために勉強会を始めた。
3) 介護予防教室の内容を充実させ、各曜日の利用人数を平均的に増やす 【評価】新型コロナウイルス感染症の拡大のために利用を控える人が延べ 10 人以上いたが、前年と比較したところ、相対的には大きな減少はなかった。

目標3. 地域に対して:支え合い

在宅で暮らし続けられるように支援し、地域全体の健康寿命の延伸に貢献する

1) 地域包括支援センターと協力して、地域に潜在している要援護高齢者をサービスに招き入れる 【評価】各種会議が、コロナ禍のために中止となり、十分な活動ができなかった。チラシ等の配布の広報活動も自粛したが、新規利用者は 10 人ほどいたので数字的には低下しなかった。
2) 地域包括支援センターや吹上・北鴻巣地域とのつながりを大切にし、地域のニーズを把握する 【評価】利用者を通して興味を示してくれる方々の情報を包括に伝えて、参加につなげることができた。また、見学者に対しても、活動内容を体験してもらい、サービスの利用につなげることができた。
3) 介護予防教室の内容を具体的に正しく理解してもらえよう、広報活動を継続して実施していく 【評価】予防教室の活動が理解しやすいようにパンフレットを作り直し、地域の高齢者に興味を持っていただくことができた。地域包括支援センターから要請のあった要援護高齢者を受け入れ、支援につなぐことができた。

## 2. 活動実施状況

実施月	活動名	日程	実施内容、評価	参加人数
4月	自立体力検定と評価	7日 8日 9日 10日	体重を測定し、健康状態を確認した。 片足立ちテスト・立ち上がりテスト・歩行能力テストの3種類の測定を実施し、体力の状況を客観的に評価した。今後の意欲向上につなげた。	32名
7月		7日 8日 9日 10日		34名
9月	音楽レクリエーション	10日	昔懐かしい歌をキーボードに合わせて皆で歌い楽しい時間を過ごす。	8名
10月	自立体力検定と評価	6日 7日 8日 9日	体重を測定し、健康状態を確認した。 片足立ちテスト・立ち上がりテスト・歩行能力テストの3種類の測定を実施し、体力の状況を客観的に評価した。今後の意欲向上につなげた。	42名
1月		12日 13日 14日 15日		28名
3月	お花見	30日 31日	宝養寺の桜と六地藏の見物を楽しんだ。	20名

### 3.介護予防教室吹上苑 統計資料

#### 1)年齢・性別(令和3年3月31日現在)

	男性	女性	合計		男性	女性	合計
65～69歳	0	0	0	平均年齢	88.2	83.8	84.6
70～74歳	0	2	2	最年少	83	72	
75～79歳	0	2	2	最年長	93	92	
80～84歳	1	10	11				
85～89歳	2	10	12				
90歳～	3	4	7				
合計	6	28	34				

#### 2)要介護度内訳(令和3年3月31日現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	申請中	合計
23	3	8	0	34

#### 3)終了理由

吹上苑		吹上苑以外		要介護	転居	本人希望	入院	死亡	合計
デイサービス	ショートステイ	デイサービス	ショートステイ						
0	0	0	0	3	0	2	2	2	9

#### 4)新規利用

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	1	1	8

#### 5)月間利用状況

	営業日数												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	17	15	17	17	14	17	18	15	16	16	14	18	194	
事業対象者	実人数												合計	
	22	20	23	23	23	24	26	26	24	23	22	23	279	
要支援1	3	3	4	4	4	3	5	5	4	2	2	3	42	
要支援2	9	7	8	9	9	11	11	11	10	8	9	8	110	
合計	34	30	35	36	36	38	42	42	38	33	33	34	431	
事業対象者	延べ人数												合計	1日平均
	79	70	89	94	75	93	105	93	87	87	81	97	1,050	5.4
要支援1	13	8	16	14	11	12	21	12	16	7	7	15	152	0.8
要支援2	40	33	50	49	33	58	70	54	52	42	45	51	577	3.0
合計	132	111	155	157	119	163	196	159	155	136	133	163	1,779	9.2

#### 6)昼食利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	34	30	34	35	35	41	41	41	36	33	33	35	428
延べ食数	132	111	153	155	162	193	193	157	152	136	133	163	1,840

## < 9 > 居宅介護支援事業所吹上苑

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

#### 目標1. 利用者に対して:心に寄り添って

利用者の意向に沿い、自立支援や重度化予防の視点を活かしたケアマネジメントを行う

1) 法令を遵守し、基準に則した運営を行う 【評価】自主点検表に基づき、常に法令を確認・遵守し、基準に則した居宅介護支援を実践した。
2) 利用者、家族を中心とした多職種チームで、その人(利用者)らしいケアマネジメントを探っていく 【評価】利用者、家族の意向を汲み取り、多職種に意見交換や助言を求めながら、その人らしい生活を送れるようケアマネジメントを行った。
3) 医療との連携を積極的に図り、ターミナルケアなど、医療ニーズの高いケースに柔軟に対応する 【評価】入退院時はケアプランの提供等で病院と連携し、施設入所や在宅介護復帰につなげることができた。在宅でのターミナル期には、往診医や訪問看護、訪問入浴、福祉用具とこまめな情報交換を行い、チームとして協力し、看取りの支援を行うことができた。

#### 目標2. 職員として:チームワーク

事業所内での情報共有や意見交換を心掛け、いつでも話し合える職場をつくる

1) 困難事例は一人で考え込まず、支援の方向性について、事業所内で意見交換するとともに、他職種(包括、医療関係など)にも相談し、最終的な方向性を考える 【評価】支援の方向性に悩んだときは、常時職員間で相談・意見交換を行い、包括や他職種の過去の事例や意見も参考に取り入れ、より良い方向性の提案ができた。
2) 研修で得た最新情報は業務会議で公表し、常に事業所内で共有する 【評価】コロナ禍で多くの研修が中止になったが、オンライン研修に参加し、居宅会議で伝達することで共有できた。
3) 専門誌やネットで積極的に最新情報を収集する 【評価】月間専門誌とネットから最新介護保険情報をこまめに収集し、情報共有できた。
4) 介護支援専門員実務研修の協力体制を確保し、地域同行型研修の依頼を受ける 【評価】協力体制は確保していたが、コロナ禍で実務研修は中止となった。

#### 目標3. 地域に対して:支え合い

地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した生活ができるように支援する

1) 鴻巣市自立支援型地域ケア会議や、包括主催の地域ケア会議に積極的に参加し、介護予防や地域の社会資源について理解を深め、インフォーマルサービスを加えた自立支援型ケアプランの立案に取り組む 【評価】感染予防に努めながら代表が会議に参加、各地域ケア会議で1ケースずつ事例発表を行い、自立支援型プランの理解を深めることができた。
2) 認知症利用者の支援のために「認知症初期集中支援チーム」や「認知症地域支援推進委員」と連携・協働する 【評価】認知症初期集中支援チームや包括に相談し、ケアの方向性を決めることができた。
3) 近隣の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会を開催する 【評価】鴻巣市ケアマネ連絡会を通し、事例検討や勉強会を行うことができた。

## 2. 居宅介護支援事業所吹上苑 統計資料(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 1) 給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
要介護1	35	38	37	39	37	36	34	36	36	37	34	35	434	30.9%
要介護2	48	50	47	49	47	46	46	43	41	39	40	42	538	38.3%
要介護3	22	23	23	21	19	19	17	18	18	17	18	18	233	16.6%
要介護4	11	11	10	8	6	11	11	11	11	11	11	10	122	8.7%
要介護5	4	4	5	6	5	5	7	8	9	10	7	7	77	5.5%
合計	120	126	122	123	114	117	115	116	115	114	110	112	1,404	100%

### 2) 年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
～69歳	9	10	9	8	7	8	8	8	8	7	6	6	94	6.7%
70～74歳	8	8	8	7	7	8	8	10	9	11	11	9	104	7.4%
75～79歳	13	14	14	14	11	12	8	7	7	8	7	9	124	8.8%
80～84歳	25	25	23	25	22	25	26	28	28	26	24	23	300	21.4%
85～89歳	30	33	33	34	33	31	32	31	32	28	29	30	376	26.8%
90歳～	35	36	35	35	34	33	33	32	31	34	33	35	406	28.9%
合計	120	126	122	123	114	117	115	116	115	114	110	112	1,404	100%

### 3) 性別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
男性	37	40	37	36	32	34	36	37	36	35	34	34	428	30.5%
女性	83	86	85	87	82	83	79	79	79	79	76	78	976	69.5%
合計	120	126	122	123	114	117	115	116	115	114	110	112	1,404	100%

### 4) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	123	127	134	141	132	155	165	148	148	75	102	145	1,595
電話、FAX、メール	211	183	193	182	232	226	225	177	192	213	236	181	2,451

### 5) 連携先

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
デイサービス	72	80	94	66	63	88	80	70	54	66	71	64	868	23.0%
ショートステイ	26	38	73	52	89	101	107	72	61	57	73	57	806	21.4%
福祉用具	41	35	34	46	44	53	56	25	33	30	42	35	474	12.6%
デイケア	15	14	16	25	10	19	19	25	12	17	15	6	193	5.1%
訪問介護	14	15	18	25	13	23	31	31	46	31	35	36	318	8.5%
訪問看護	13	25	34	19	16	25	25	14	16	21	36	18	262	7.0%
訪問リハビリ	7	13	14	8	1	4	12	6	14	3	11	10	103	2.7%
訪問入浴	2	0	7	1	7	11	5	0	2	3	6	4	48	1.3%
行政	12	13	9	14	22	31	27	28	27	28	23	19	253	6.7%
医療機関	2	14	15	12	11	16	24	13	21	17	35	17	197	5.2%
社協	4	4	2	3	0	1	3	10	11	10	3	3	54	1.4%
施設(老健など)	12	2	3	4	11	4	9	1	14	6	3	11	80	2.1%
その他	7	5	6	7	6	10	13	12	6	18	3	19	112	3.0%
合計	227	258	325	282	293	386	411	307	317	307	356	299	3,768	100%

※【その他】は、民生委員や介護保険外サービス等。

## 6)新規登録者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性	2	2	0	1	3	2	0	1	1	0	1	0	13
女性	5	2	1	3	2	2	1	4	1	4	3	1	29
合計	7	4	1	4	5	4	1	5	2	4	4	1	42

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
継続中	120	126	122	123	114	117	115	116	115	114	110	112	1,404
新規	7	4	1	4	5	4	1	5	2	4	4	1	42
利用なし	3	3	4	5	3	3	4	4	5	6	6	5	51

※【利用なし】は、「入院中」「老健入所中」「サービス利用なし」の数。

## 7)終了理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比
死亡	0	0	1	5	2	0	2	3	0	3	1	0	17	39.5%
転出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
入所(特養)	1	1	0	3	0	1	1	4	3	0	0	1	15	34.9%
(老健)	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	4	9.3%
(GH)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.3%
(有料)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	7.0%
(サ高住)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
要介→要支援	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.3%
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	4.7%
合計	1	1	2	9	6	1	3	7	4	6	1	2	43	100%

※【その他】は、「長期利用なし」「長期入院のための終了者」の数。

## 8)介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鴻巣市(在宅)	7	2	3	5	10	8	6	3	3	3	4	8	62
(施設)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
合計	7	2	3	6	10	8	6	3	3	3	5	9	65

## 9)地域包括支援センターから支援困難者の依頼件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規依頼件数	5	1	1	2	4	3	1	2	1	0	1	1	22

## 10)介護予防支援受託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
委託件数	20	19	21	18	18	18	18	20	21	20	20	19	232

## < 10 > 鴻巣地域包括支援センター吹上苑

### 1. 目標・具体的活動計画の評価

目標1. 高齢者が住み慣れた地域で健康で生き生きと暮らせるよう支援する

1) 地域住民、民生委員等から情報を得るために、地域の食事会、民生委員定例会議等に出向き、閉じこもり等のリスクが高い高齢者を把握し、優先的に訪問する

【評価】コロナ禍で、独居・要援護訪問を積極的に行うことは難しかったが、地域住民、民生委員等からの相談には対応できた。

目標2. 自立支援に向けたケアマネジメントを徹底する

1) 圏域の地域ケア会議、介護支援専門員向け研修会、インフォーマルサービスの情報交換会等を活用し、介護支援専門員、事業所と自立支援に向けたケアマネジメントの考えを共有する

【評価】・圏域の自立支援型地域ケア会議を開催し、自立支援に向けたケアマネジメントの考えを共有した。

- ・介護支援専門員のニーズに基づき、民間の身元保証会社を講師に招き、研修会を開催できた。
- ・ケアマネ連絡会に参加し、意見交換ができた。
- ・予防ケアプランの委託時、また自立支援型地域ケア会議の資料作成時等を通じて、生活機能評価の活用について助言を行った。

目標3. 認知症支援策の充実を図る

1) 認知症総合支援事業担当者との連携に努め、認知症高齢者や家族、介護支援専門員のスムーズな支援につなげる

【評価】・介護者教室の講師を依頼する等、認知症総合支援事業担当者と連携ができた。

- ・感染対策を徹底し、認知症サポーター養成講座、ご近所見守り隊のフォローアップ研修を開催できた。
- ・オレンジカフェに参加し協力できた。

2) 新しい鴻巣市認知症ケアパスを積極的に活用し、認知症相談支援の充実を図る

【評価】新しい鴻巣市認知症ケアパスはコロナの影響でまだ作成中だが、これまでのケアパスを地域ケア会議で介護支援専門員に紹介し、認知症へのアドバイスをした。

目標4. 地域の社会資源の把握に努め、地域におけるネットワーク構築を進める

1) 自立支援型地域ケア会議、個別ケース等を通じて、地域課題の把握に努める

【評価】把握した地域課題を、自立支援型地域ケア会議やネットワーク会議等を通して市に働きかけた。

2) 包括圏域社会資源マップを随時更新していく

【評価】包括圏域社会資源マップを随時更新できた。

目標5. 地域の関係機関との連携を強化する

1) 前年度に引き続き関係機関の会議等に参加し、連携の強化を図る

【評価】・コロナ禍であったが、参加できる会議には出席し、連携の強化を図った。

- ・ネットワーク会議は出席者を絞る等の工夫をして開催した。
- ・民間の身元保証会社、生活保護担当、障害福祉課との連携が増えた。

2) 切れ目のない医療と介護の連携強化に努め、高齢者に適切な支援を行う

【評価】・1層2層支え合い推進会議、在宅医療介護連携推進会議、運営推進会議、ケアマネ連絡会に出席し、連携、体制作りを行った。

・高齢者対応連絡調整会議を通じて、市とスムーズな連携ができた。

3) 広報、チラシの配布先、配布方法を見直し、配布先の公共機関、医療機関、薬局、事業所、地域住民等との連携をさらに深める

【評価】広報やチラシは、地区担当を中心に配布することとした。コロナ禍で配布する機会が制限されたが、できる範囲で配布し、連携を深めることができた。また、金融機関からの相談が増えた。

2. 鴻巣地域包括支援センター吹上苑 統計資料(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1) 包括的支援事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1) 総合相談													
1 地域におけるネットワーク構築													
① マップ作成	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
② ネットワーク会議開催	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
③ 関係者名簿作成	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
④ 出前講座等実施	1	0	0	0	2	1	2	2	0	0	0	1	9
2 各種相談対応	298	224	338	309	290	330	349	282	321	313	299	338	3,691
3 継続的・専門的な相談支援	25	11	27	30	66	46	45	22	27	36	37	56	428
(2) 権利擁護相談事業													
1 各権利擁護制度活用促進	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 権利擁護相談													
① 成年後見人制度	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
② 虐待防止及び養護者支援	13	35	9	1	3	6	0	9	7	17	7	2	109
③ 消費者被害防止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業													
1 介護支援専門員会議(地域ケア会議)開催	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
2 介護支援専門員同士ネットワーク構築支援	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3 介護支援専門員の実践力向上支援	3	1	2	2	3	6	1	0	1	0	0	5	24
4 研修会企画・開催等	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 関係、医療機関との連携および体制づくり等	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
(4) その他													
1 独居・要援護高齢者実態把握(訪問等)	35	30	27	22	31	20	31	41	37	33	34	35	376
2 広報・啓発活動													
機関紙・事業周知のチラシ作成	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
3 事業連絡会参加													
包括定例会、連絡会、事業所連絡会等	1	0	2	5	1	6	6	5	6	1	2	2	37
自立支援型地域ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
4 研鑽・資質向上(研修会参加等)	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	3	9
5 教育・啓発活動(研修等受け入れ)	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	0	0	7

2) 介護予防事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者把握事業													
① 対象者実態把握	5	9	5	4	7	5	5	6	4	6	5	2	63
② チェックリスト回収	5	9	5	4	7	5	5	6	4	6	5	2	63

3) 任意事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(1) 適正化事業													
ケアプランチェック実施	2	0	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	18
(2) 家族介護支援事業													
1 介護者教室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
2 認知症教室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

4) 指定介護予防支援事業実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアマネジメント事業													
介護予防支援(予防給付)	110	112	116	118	117	123	127	127	125	119	120	117	1,431
介護予防ケアマネジメント事業(総合事業)	105	112	116	116	115	119	124	126	122	123	119	120	1,417
予防ケアプランに係る相談支援件数	612	555	541	622	593	581	723	612	556	570	572	597	7,134

5) 介護保険認定調査実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険認定調査	5	0	2	3	1	1	4	3	6	1	6	9	41

6) 配食サービス調査実績

業務区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食サービス調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1